

第6次玉川村振興計画
後期基本計画等策定のための
村民アンケート調査結果

【目次】

- | | | |
|---|-----------|----|
| 1 | 調査の方法・目的 | 1 |
| 2 | アンケート集計結果 | 2 |
| 3 | 自由記入意見の概要 | 42 |

1 調査の目的・方法

(1) 本調査の目的

本アンケート調査は、第6次玉川村振興計画後期基本計画等の策定にあたり、一般村民が日頃考え、感じているまちづくりに関する意向を把握し、今後のまちづくりの基礎資料の一つとすることを目的としています。

(2) 調査対象

玉川村に在住する15歳以上の村民から、無作為に抽出した2,000人を対象としました。

(3) 調査期間と方法

令和元年7月に実施し、7月25日を回答期限としました。

対象者に郵送で配付し、返送していただきました。

(4) 回収状況

配布数は、2,000票、回収票数は751票、回収率は37.6%でした。

有効回答数は750票、有効回答率は37.5%でした。

※全体注釈

- ・グラフに「N=750」とあるのは、サンプル数が750件あることを意味します。
- ・構成比は、端数処理の関係で、個別に加算した数値と総数欄の表示値が合わない場合があります。

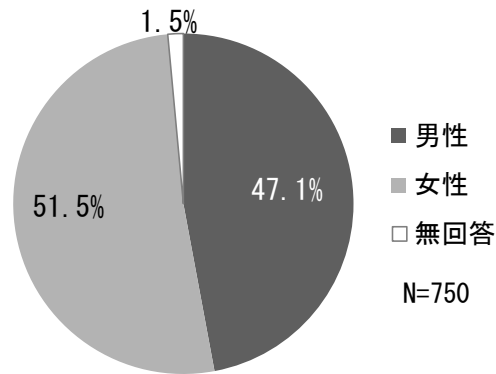
2 アンケート集計結果

問1 あなたについてお答えください。

①性別

「女性」が51.5%、「男性」が47.1%となっています。

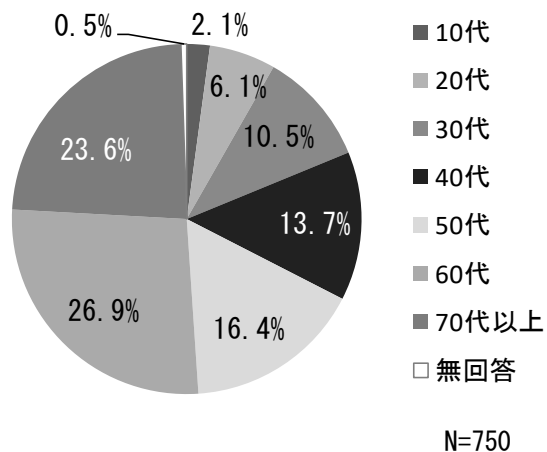
総数	750	100.0%
男性	353	47.1%
女性	386	51.5%
無回答	11	1.5%



②年齢

「60代」が26.9%と最も多く、次いで「70代以上」が23.6%、「50代」が16.4%、「40代」が13.7%となっています。

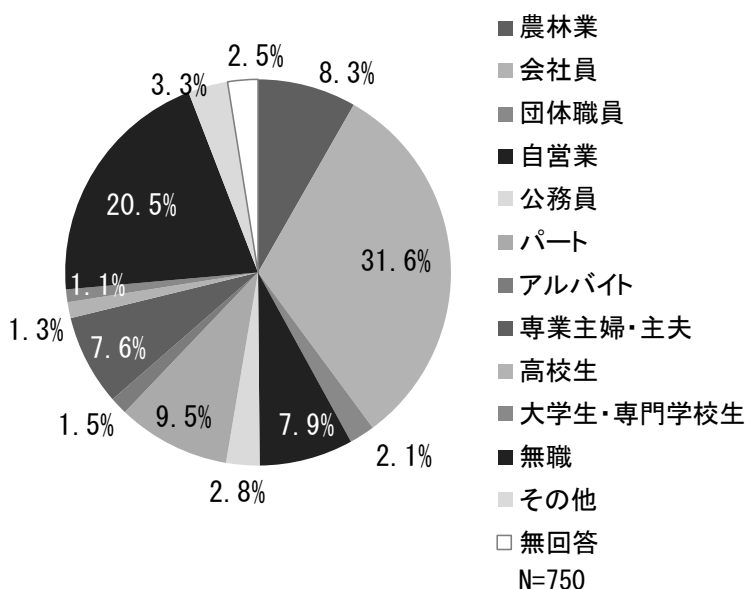
総数	750	100.0%
10代	16	2.1%
20代	46	6.1%
30代	79	10.5%
40代	103	13.7%
50代	123	16.4%
60代	202	26.9%
70代以上	177	23.6%
無回答	4	0.5%



③職業

「会社員」が31.6%と最も多く、次いで「無職」が20.5%、「パート」が9.5%、「農林業」が8.3%となっています。

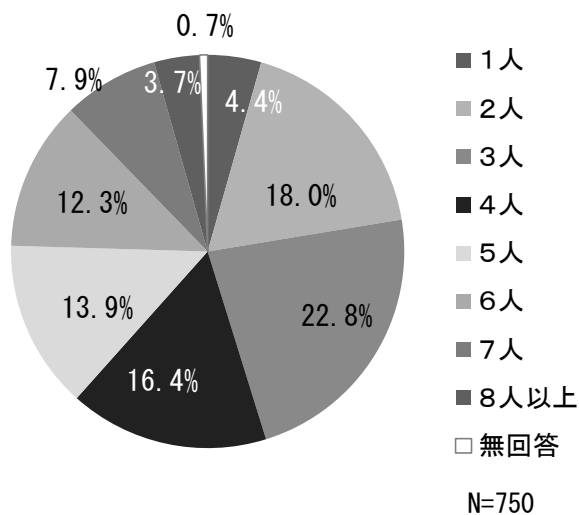
職業	人数	割合
総数	750	100.0%
農林業	62	8.3%
会社員	237	31.6%
団体職員	16	2.1%
自営業	59	7.9%
公務員	21	2.8%
パート	71	9.5%
アルバイト	11	1.5%
専業主婦・主夫	57	7.6%
高校生	10	1.3%
大学生・専門学校生	8	1.1%
無職	154	20.5%
その他	25	3.3%
無回答	19	2.5%



④あなたの同居人数(あなたを含めて)

「3人」が22.8%と最も多く、次いで「2人」が18.0%、「4人」が16.4%、「5人」が13.9%となっています。

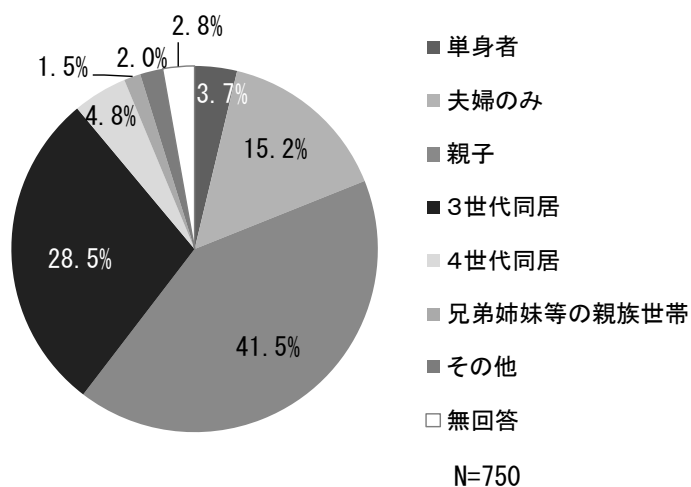
同居人数	人数	割合
総数	750	100.0%
1人	33	4.4%
2人	135	18.0%
3人	171	22.8%
4人	123	16.4%
5人	104	13.9%
6人	92	12.3%
7人	59	7.9%
8人以上	28	3.7%
無回答	5	0.7%



⑤家族構成

「親子」が41.5%と最も多く、次いで「3世代同居」が28.5%、「夫婦のみ」が15.2%、「4世代同居」が4.8%となっています。

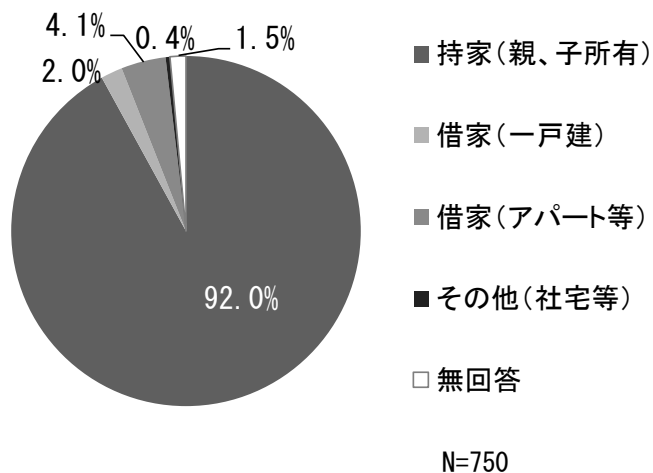
総数	750	100.0%
単身者	28	3.7%
夫婦のみ	114	15.2%
親子	311	41.5%
3世代同居	214	28.5%
4世代同居	36	4.8%
兄弟姉妹等の親族世帯	11	1.5%
その他	15	2.0%
無回答	21	2.8%



⑥居住形態

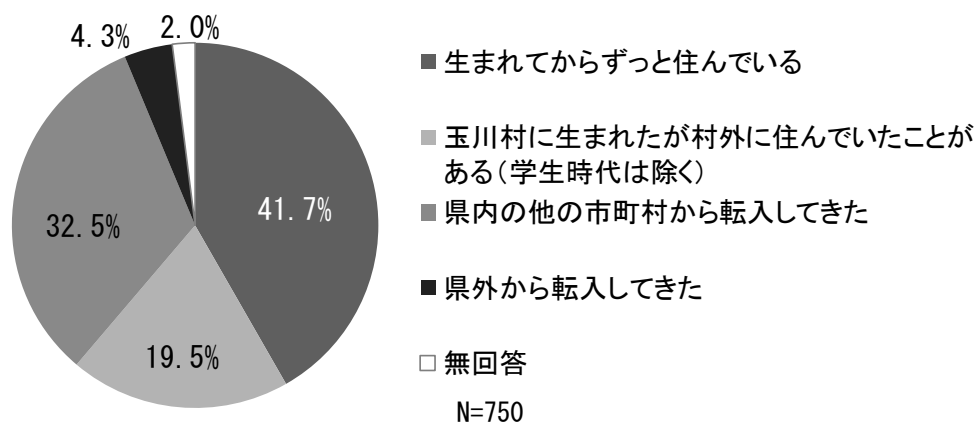
「持家（親、子所有）」が92.0%と最も多く、次いで「借家（アパート等）」が4.1%、「借家（一戸建）」が2.0%、「その他（社宅等）」が0.4%となっています。

総数	750	100.0%
持家（親、子所有）	690	92.0%
借家（一戸建）	15	2.0%
借家（アパート等）	31	4.1%
その他（社宅等）	3	0.4%
無回答	11	1.5%



⑦居住歴

「生まれてからずっと住んでいる」が41.7%と最も多く、次いで「県内の他の市町村から転入してきた」が32.5%、「玉川村に生まれたが村外に住んでいたことがある（学生時代は除く）」が19.5%、「県外から転入してきた」が4.3%となっています。

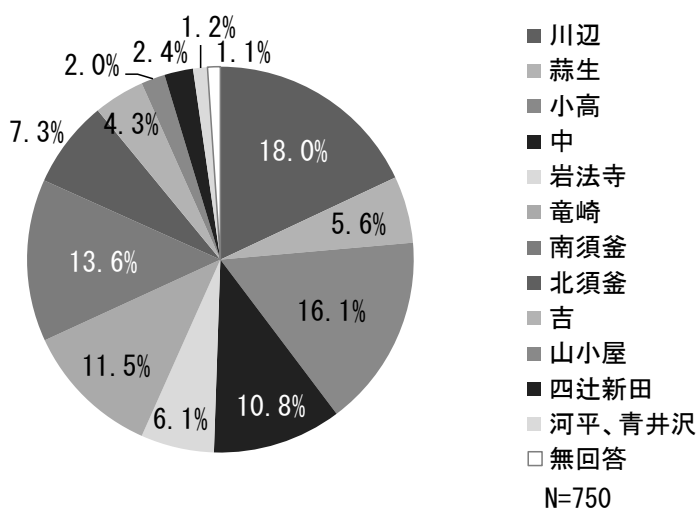


居住歴	人数	割合
総数	750	100.0%
生まれてからずっと住んでいる	313	41.7%
玉川村に生まれたが村外に住んでいたことがある(学生時代は除く)	146	19.5%
県内の他の市町村から転入してきた	244	32.5%
県外から転入してきた	32	4.3%
無回答	15	2.0%

⑧居住地区

「川辺」が18.0%と最も多く、次いで「小高」が16.1%、「南須釜」が13.6%、「竜崎」が11.5%となっています。

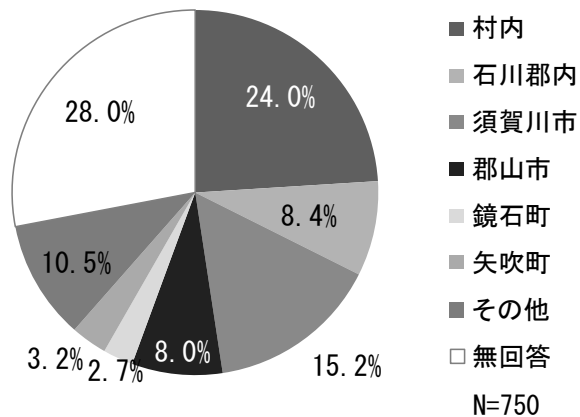
居住地区	人数	割合
総数	750	100.0%
川辺	135	18.0%
蒜生	42	5.6%
小高	121	16.1%
中	81	10.8%
岩法寺	46	6.1%
竜崎	86	11.5%
南須釜	102	13.6%
北須釜	55	7.3%
吉	32	4.3%
山小屋	15	2.0%
四辻新田	18	2.4%
河平、青井沢	9	1.2%
無回答	8	1.1%



⑨通勤・通学先

「村内」が24.0%と最も多く、次いで「須賀川市」が15.2%、「その他」が10.5%、「石川郡内」が8.4%となっています。

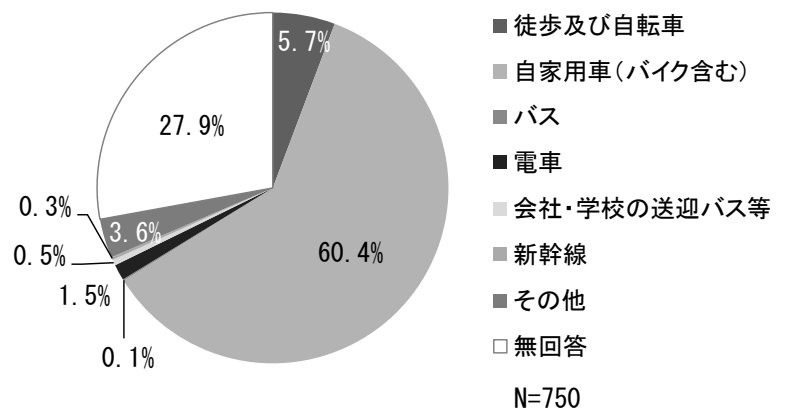
総数	750	100.0%
村内	180	24.0%
石川郡内	63	8.4%
須賀川市	114	15.2%
郡山市	60	8.0%
鏡石町	20	2.7%
矢吹町	24	3.2%
その他	79	10.5%
無回答	210	28.0%



⑩通勤・通学の主な移動手段

「自家用車（バイク含む）」が60.4%と最も多く、次いで「徒歩及び自転車」が5.7%、「その他」が3.6%、「電車」が1.5%となっています。

総数	750	100.0%
徒歩及び自転車	43	5.7%
自家用車（バイク含む）	453	60.4%
バス	1	0.1%
電車	11	1.5%
会社・学校の送迎バス等	4	0.5%
新幹線	2	0.3%
その他	27	3.6%
無回答	209	27.9%



問2 村の各施策について、「現在の満足度」と「今後に向けた重要度」の評価をお答えください。

本設問の集計は、他の設問と異なりますので、集計の方法等について、以下に概要を記します。

① 評価の対象

アンケート調査では、玉川村のまちづくりに関する重要度と満足度について5段階評価してもらいました。

② 集計と分析のしかた

5段階評価された設問ごとの満足度、重要度の票数から点数化して分析します。

まず始めに、設問ごとに集計された満足度あるいは重要度の票数に、下表のように設定した所定の点数を乗じ点数化します。その値を満足度あるいは重要度のそれぞれの総票数で除し平均化し値を求めます。

次に、全設問にわたる満足度あるいは重要度の総票数を用い、同様に点数化し、平均化した値を求めます。

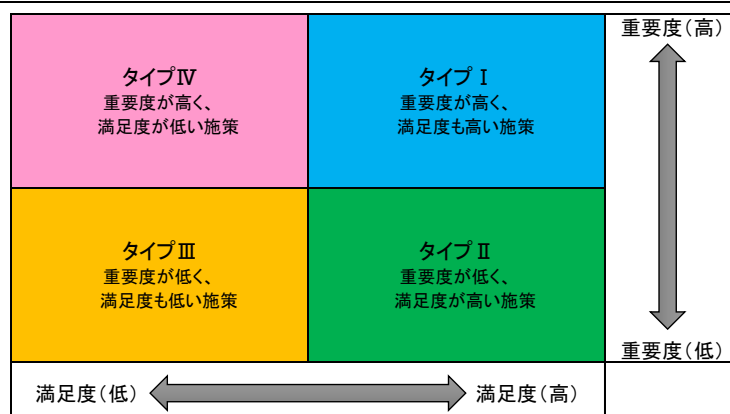
これらの設問ごとに求めた満足度および重要度の平均値（平均化された値）と、全設問から求めたそれぞれの平均値を比較して分析します。

評価	満足度					重要度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い
点数	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2

③ 評価のしかた

前項で分析した結果を、下表および下図に記す分類基準でタイプ分けし、評価します。

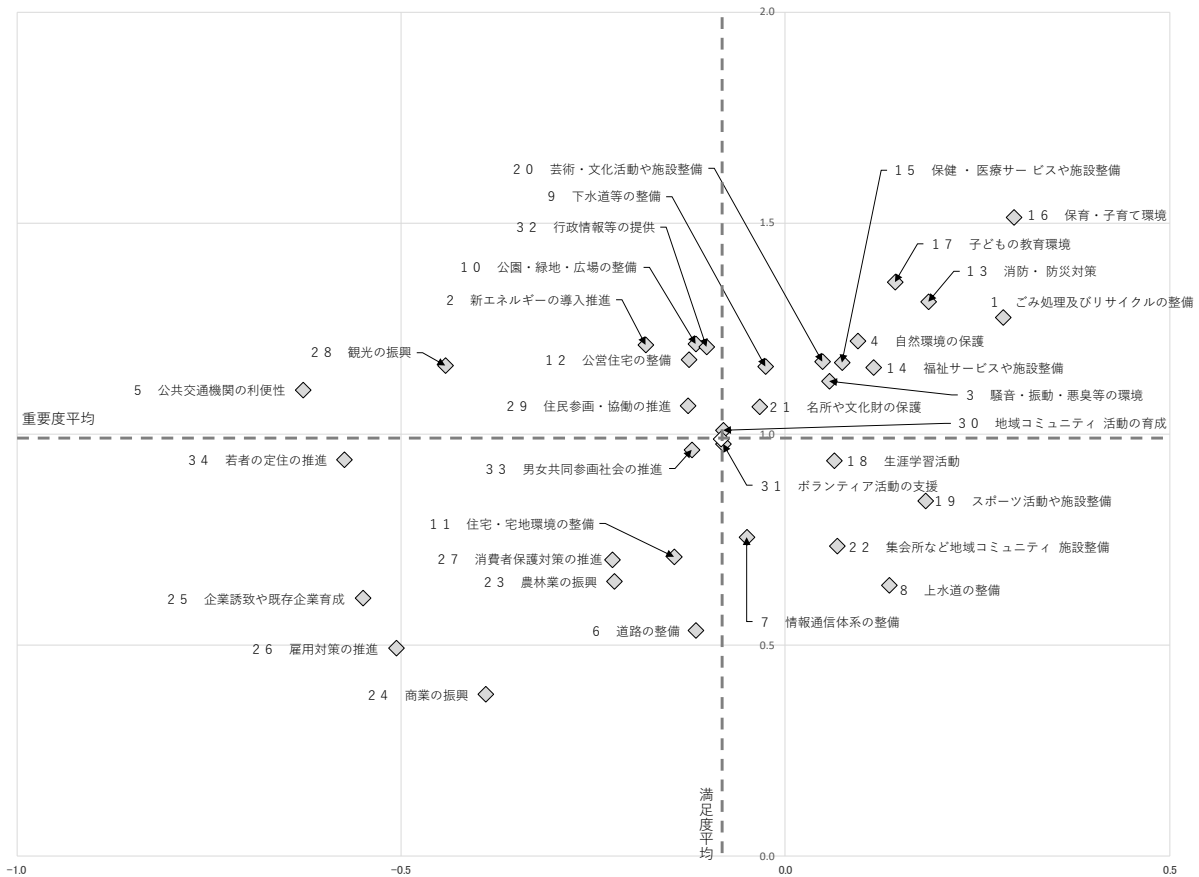
分類	基準
タイプⅠ	平均値よりも、重要度、満足度が共に高いもの
タイプⅡ	平均値よりも、重要度が低く、満足度が高いもの
タイプⅢ	平均値よりも、重要度、満足度が共に低いもの
タイプⅣ	平均値よりも、重要度が高く、満足度が低いもの



【玉川村のまちづくりに関する重要度と満足度】

平均値よりも、重要度が高く、満足度が低かった施策は、「2 新エネルギーの導入推進」及び「5 公共交通機関の利便性」「10 公園・緑地・広場の整備」、「12 公営住宅の整備」、「28 観光の振興」、「29 住民参画・協働の推進」、「32 行政情報等の提供」となっている。

重要度の評価では、「16 保育・子育て環境」が最も高く、次いで「17 子どもの教育環境」、「13 消防・防災対策」となっている。



■各施策の評価

タイプⅠ	重要度、満足度が共に高いもの	1 ごみ処理及びリサイクルの整備 3 騒音・振動・悪臭等の環境 4 自然環境の保護 9 下水道等の整備 13 消防・防災対策 14 福祉サービスや施設整備 15 保健・医療サービスや施設整備 16 保育・子育て環境 17 子どもの教育環境 20 芸術・文化活動や施設整備 21 名所や文化財の保護 30 地域コミュニティ活動の育成
タイプⅡ	重要度は低い、満足度が高いもの	2 新エネルギーの導入推進 5 公共交通機関の利便性 10 公園・緑地・広場の整備 12 公営住宅の整備 28 観光の振興 29 住民参画・協働の推進 32 行政情報等の提供
タイプⅢ	重要度、満足度が共に低いもの	7 情報通信体系の整備 8 上水道の整備 18 生涯学習活動 19 スポーツ活動や施設整備 22 集会所など地域コミュニティ施設整備 31 ボランティア活動の支援
タイプⅣ	重要度は高い、満足度が低いもの	2 新エネルギーの導入推進 5 公共交通機関の利便性 10 公園・緑地・広場の整備 12 公営住宅の整備 28 観光の振興 29 住民参画・協働の推進 32 行政情報等の提供

■重要度の評価

重要度高い		重要度低い	
第1位	16 保育・子育て環境	第1位	24 商業の振興
第2位	17 子どもの教育環境	第2位	26 雇用対策の推進
第3位	13 消防・防災対策	第3位	6 道路の整備
第4位	1 ごみ処理及びリサイクルの整備	第4位	25 企業誘致や既存企業育成
第5位	4 自然環境の保護	第5位	8 上水道の整備
第6位	10 公園・緑地・広場の整備	第6位	23 農林業の振興
第7位	2 新エネルギーの導入推進	第7位	27 消費者保護対策の推進
第8位	32 行政情報等の提供	第8位	11 住宅・宅地環境の整備
第9位	12 公営住宅の整備	第9位	22 集会所など地域コミュニティ施設整備
第10位	20 芸術・文化活動や施設整備	第10位	7 情報通信体系の整備

■満足度集計結果

	総数	無回答 わからない	有効回答	満足	ふつう	不満
1 ごみ処理及びリサイクルの整備	750	71	679	238	354	87
	-	-	100.0%	35.1%	52.1%	12.8%
2 新エネルギーの導入推進	750	245	505	54	336	115
	-	-	100.0%	10.7%	66.5%	22.8%
3 騒音・振動・悪臭等の環境	750	79	671	170	356	145
	-	-	100.0%	25.3%	53.1%	21.6%
4 自然環境の保護	750	103	647	137	414	96
	-	-	100.0%	21.2%	64.0%	14.8%
5 公共交通機関の利便性	750	90	660	86	224	350
	-	-	100.0%	13.0%	33.9%	53.0%
6 道路の整備	750	60	690	168	307	215
	-	-	100.0%	24.3%	44.5%	31.2%
7 情報通信体系の整備	750	119	631	110	394	127
	-	-	100.0%	17.4%	62.4%	20.1%
8 上水道の整備	750	89	661	194	344	123
	-	-	100.0%	29.3%	52.0%	18.6%
9 下水道等の整備	750	82	668	171	324	173
	-	-	100.0%	25.6%	48.5%	25.9%
10 公園・緑地・広場の整備	750	78	672	148	330	194
	-	-	100.0%	22.0%	49.1%	28.9%
11 住宅・宅地環境の整備	750	98	652	91	401	160
	-	-	100.0%	14.0%	61.5%	24.5%
12 公営住宅の整備	750	186	564	71	375	118
	-	-	100.0%	12.6%	66.5%	20.9%
13 消防・防災対策	750	80	670	176	415	79
	-	-	100.0%	26.3%	61.9%	11.8%
14 福祉サービスや施設整備	750	103	647	166	376	105
	-	-	100.0%	25.7%	58.1%	16.2%
15 保健・医療サービスや施設整備	750	88	662	160	384	118
	-	-	100.0%	24.2%	58.0%	17.8%
16 保育・子育て環境	750	129	621	217	330	74
	-	-	100.0%	34.9%	53.1%	11.9%
17 子どもの教育環境	750	119	631	162	377	92
	-	-	100.0%	25.7%	59.7%	14.6%
18 生涯学習活動	750	180	570	98	409	63
	-	-	100.0%	17.2%	71.8%	11.1%
19 スポーツ活動や施設整備	750	113	637	167	401	69
	-	-	100.0%	26.2%	63.0%	10.8%
20 芸術・文化活動や施設整備	750	131	619	109	432	78
	-	-	100.0%	17.6%	69.8%	12.6%
21 名所や文化財の保護	750	157	593	83	419	91
	-	-	100.0%	14.0%	70.7%	15.3%
22 集会所など地域コミュニティ施設整備	750	101	649	128	425	96
	-	-	100.0%	19.7%	65.5%	14.8%
23 農林業の振興	750	221	529	40	357	132
	-	-	100.0%	7.6%	67.5%	25.0%
24 商業の振興	750	163	587	50	324	213
	-	-	100.0%	8.5%	55.2%	36.3%
25 企業誘致や既存企業育成	750	172	578	49	272	257
	-	-	100.0%	8.5%	47.1%	44.5%
26 雇用対策の推進	750	174	576	38	299	239
	-	-	100.0%	6.6%	51.9%	41.5%
27 消費者保護対策の推進	750	213	537	35	388	114
	-	-	100.0%	6.5%	72.3%	21.2%
28 観光の振興	750	165	585	32	339	214
	-	-	100.0%	5.5%	57.9%	36.6%
29 住民参画・協働の推進	750	219	531	39	406	86
	-	-	100.0%	7.3%	76.5%	16.2%
30 地域コミュニティ活動の育成	750	181	569	57	421	91
	-	-	100.0%	10.0%	74.0%	16.0%
31 ボランティア活動の支援	750	185	565	63	401	101
	-	-	100.0%	11.2%	71.0%	17.9%
32 行政情報等の提供	750	136	614	80	411	123
	-	-	100.0%	13.0%	66.9%	20.0%
33 男女共同参画社会の推進	750	226	524	41	395	88
	-	-	100.0%	7.8%	75.4%	16.8%
34 若者の定住の推進	750	149	601	52	263	286
	-	-	100.0%	8.7%	43.8%	47.6%

※総数から「わからない」と無回答を除外したものを有効回答としている。

■優先度集計結果

	総数	無回答 わからない	有効回答			
				高い	ふつう	低い
1 ごみ処理及びリサイクルの整備	750	113	637	375	234	28
	-	-	100.0%	58.9%	36.7%	4.4%
2 新エネルギーの導入推進	750	219	531	229	247	55
	-	-	100.0%	43.1%	46.5%	10.4%
3 騒音・振動・悪臭等の環境	750	128	622	271	303	48
	-	-	100.0%	43.6%	48.7%	7.7%
4 自然環境の保護	750	134	616	276	297	43
	-	-	100.0%	44.8%	48.2%	7.0%
5 公共交通機関の利便性	750	130	620	336	180	104
	-	-	100.0%	54.2%	29.0%	16.8%
6 道路の整備	750	116	634	326	233	75
	-	-	100.0%	51.4%	36.8%	11.8%
7 情報通信体系の整備	750	141	609	262	307	40
	-	-	100.0%	43.0%	50.4%	6.6%
8 上水道の整備	750	142	608	321	253	34
	-	-	100.0%	52.8%	41.6%	5.6%
9 下水道等の整備	750	133	617	327	240	50
	-	-	100.0%	53.0%	38.9%	8.1%
10 公園・緑地・広場の整備	750	125	625	239	332	54
	-	-	100.0%	38.2%	53.1%	8.6%
11 住宅・宅地環境の整備	750	138	612	236	324	52
	-	-	100.0%	38.6%	52.9%	8.5%
12 公営住宅の整備	750	193	557	164	332	61
	-	-	100.0%	29.4%	59.6%	11.0%
13 消防・防災対策	750	119	631	326	274	31
	-	-	100.0%	51.7%	43.4%	4.9%
14 福祉サービスや施設整備	750	136	614	356	228	30
	-	-	100.0%	58.0%	37.1%	4.9%
15 保健・医療サービスや施設整備	750	131	619	362	224	33
	-	-	100.0%	58.5%	36.2%	5.3%
16 保育・子育て環境	750	147	603	357	219	27
	-	-	100.0%	59.2%	36.3%	4.5%
17 子どもの教育環境	750	145	605	348	234	23
	-	-	100.0%	57.5%	38.7%	3.8%
18 生涯学習活動	750	190	560	201	328	31
	-	-	100.0%	35.9%	58.6%	5.5%
19 スポーツ活動や施設整備	750	152	598	217	350	31
	-	-	100.0%	36.3%	58.5%	5.2%
20 芸術・文化活動や施設整備	750	162	588	158	383	47
	-	-	100.0%	26.9%	65.1%	8.0%
21 名所や文化財の保護	750	173	577	168	355	54
	-	-	100.0%	29.1%	61.5%	9.4%
22 集会所など地域コミュニティ施設整備	750	150	600	197	364	39
	-	-	100.0%	32.8%	60.7%	6.5%
23 農林業の振興	750	225	525	170	291	64
	-	-	100.0%	32.4%	55.4%	12.2%
24 商業の振興	750	187	563	242	253	68
	-	-	100.0%	43.0%	44.9%	12.1%
25 企業誘致や既存企業育成	750	184	566	294	188	84
	-	-	100.0%	51.9%	33.2%	14.8%
26 雇用対策の推進	750	174	576	288	210	78
	-	-	100.0%	50.0%	36.5%	13.5%
27 消費者保護対策の推進	750	212	538	164	316	58
	-	-	100.0%	30.5%	58.7%	10.8%
28 観光の振興	750	176	574	208	271	95
	-	-	100.0%	36.2%	47.2%	16.6%
29 住民参画・協働の推進	750	217	533	124	354	55
	-	-	100.0%	23.3%	66.4%	10.3%
30 地域コミュニティ活動の育成	750	197	553	144	364	45
	-	-	100.0%	26.0%	65.8%	8.1%
31 ボランティア活動の支援	750	187	563	145	363	55
	-	-	100.0%	25.8%	64.5%	9.8%
32 行政情報等の提供	750	168	582	195	346	41
	-	-	100.0%	33.5%	59.5%	7.0%
33 男女共同参画社会の推進	750	219	531	138	351	42
	-	-	100.0%	26.0%	66.1%	7.9%
34 若者の定住の推進	750	157	593	340	165	88
	-	-	100.0%	57.3%	27.8%	14.8%

※総数から「わからない」と無回答を除外したものを有効回答としている。

【年代別クロス集計】

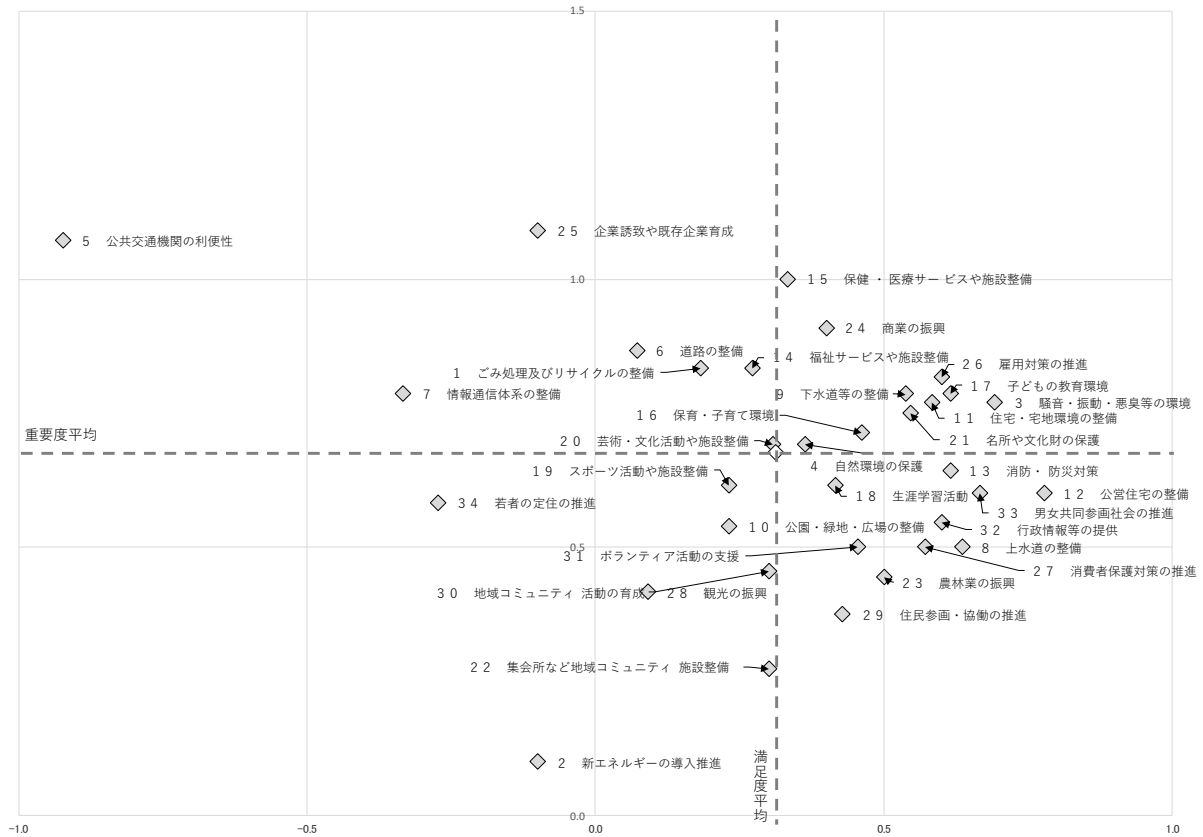
重要度は低いですが、満足度が高い施策を比較すると、10代以外のすべての世代で、「34 若者の定住の推進」が挙げられている。また、「5 公共交通機関の利便性」及び「25 企業誘致や既存企業育成」がほとんどの世代であげられている。30代以下の全ての年代で共通している項目は、「7 情報通信体系の整備」となっている。

■重要度は高いが、満足度が低い項目の年代別比較

年代	重要度は高いが、満足度が低い施策
10代	1 ごみ処理及びリサイクルの整備 5 公共交通機関の利便性 6 道路の整備 7 情報通信体系の整備 14 福祉サービスや施設整備 20 芸術・文化活動や施設整備 25 企業誘致や既存企業育成
20代	5 公共交通機関の利便性 7 情報通信体系の整備 9 下水道等の整備 11 住宅・宅地環境の整備 14 福祉サービスや施設整備 24 商業の振興 25 企業誘致や既存企業育成 26 雇用対策の推進 28 観光の振興 34 若者の定住の推進
30代	5 公共交通機関の利便性 7 情報通信体系の整備 9 下水道等の整備 10 公園・緑地・広場の整備 15 保健・医療サービスや施設整備 24 商業の振興 25 企業誘致や既存企業育成 26 雇用対策の推進 34 若者の定住の推進
40代	2 新エネルギーの導入推進 3 騒音・振動・悪臭等の環境 5 公共交通機関の利便性 6 道路の整備 26 雇用対策の推進 34 若者の定住の推進
50代	2 新エネルギーの導入推進 5 公共交通機関の利便性 6 道路の整備 9 下水道等の整備 24 商業の振興 25 企業誘致や既存企業育成 26 雇用対策の推進 34 若者の定住の推進
60代	5 公共交通機関の利便性 6 道路の整備 25 企業誘致や既存企業育成 26 雇用対策の推進 34 若者の定住の推進
70代以上	25 企業誘致や既存企業育成 32 行政情報等の提供 34 若者の定住の推進

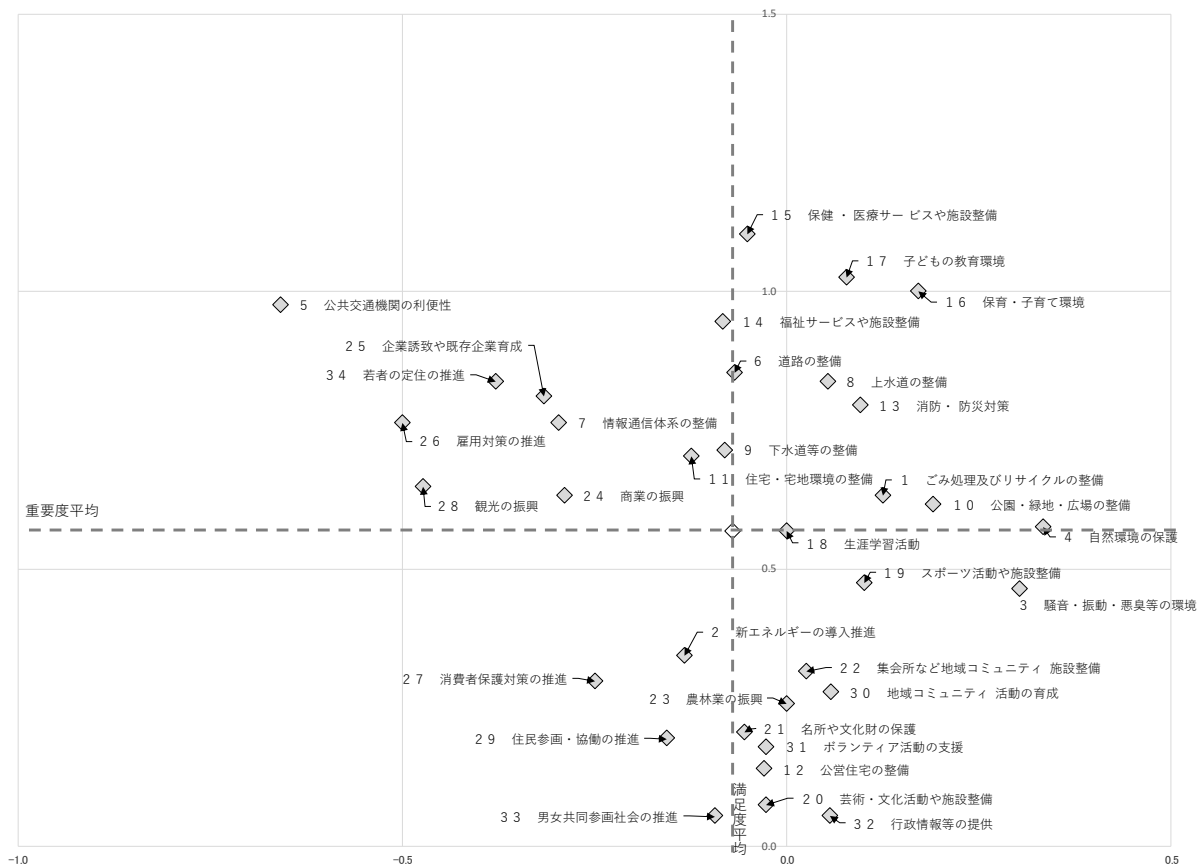
■10代

10代で、平均値よりも、重要度が高く、満足度が低かった施策は、「1 ごみ処理及びリサイクルの整備」及び「5 公共交通機関の利便性」、「6 道路の整備」、「7 情報通信体系の整備」、「14 福祉サービスや施設整備」、「20 芸術・文化活動や施設整備」、「25 企業誘致や既存企業育成」となっている。



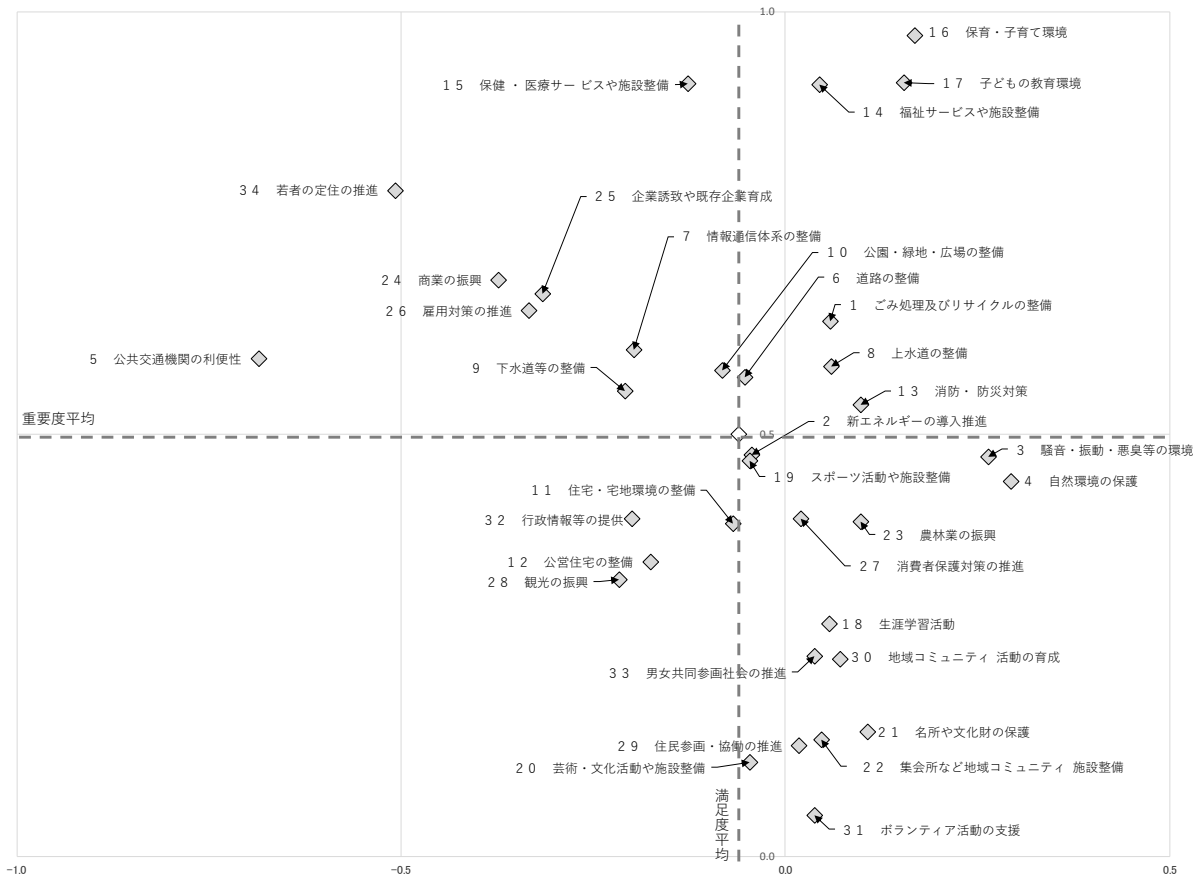
■20代

20代で、平均値よりも、重要度が高く、満足度が低かった施策は、「5 公共交通機関の利便性」及び「7 情報通信体系の整備」、「9 下水道等の整備」、「11 住宅・宅地環境の整備」、「14 福祉サービスや施設整備」、「24 商業の振興」、「25 企業誘致や既存企業育成」、「26 雇用対策の推進」、「28 観光の振興」、「34 若者の定住の推進」となっている。



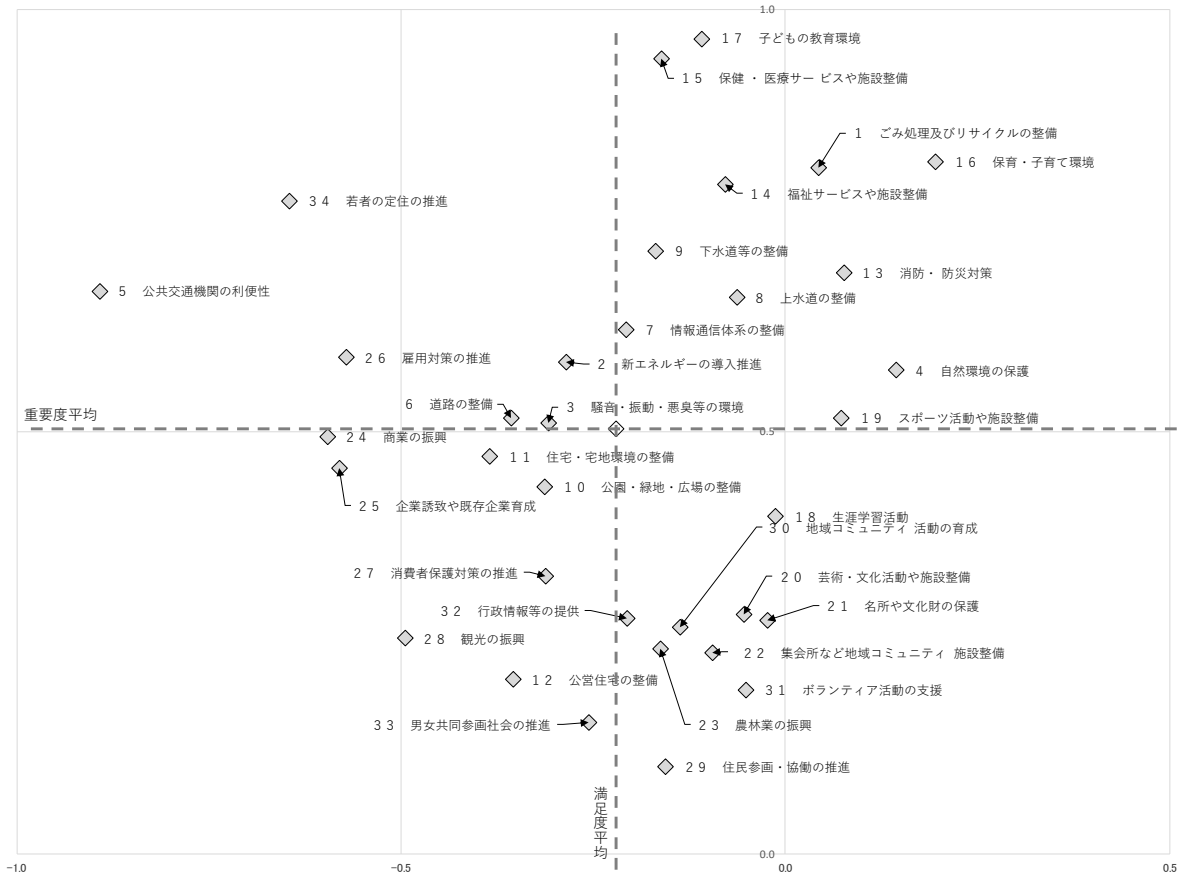
■30代

30代で、平均値よりも、重要度が高く、満足度が低かった施策は、「5 公共交通機関の利便性」及び「7 情報通信体系の整備」、「9 下水道等の整備」、「10 公園・緑地・広場の整備」、「15 保健・医療サービスや施設整備」、「24 商業の振興」、「25 企業誘致や既存企業育成」、「26 雇用対策の推進」、「34 若者の定住の推進」となっている。



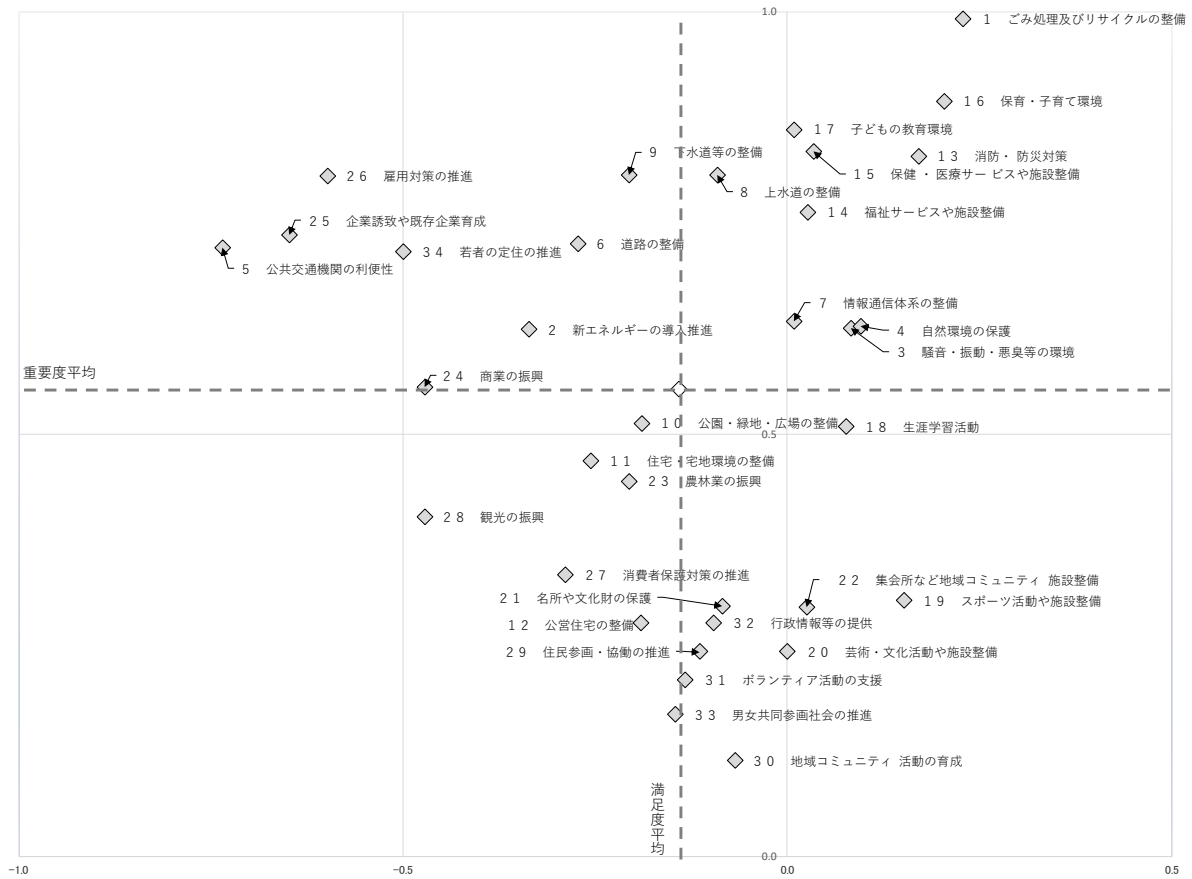
■40代

40代で、平均値よりも、重要度が高く、満足度が低かった施策は、「2 新エネルギーの導入推進」及び「3 騒音・振動・悪臭等の環境」、「5 公共交通機関の利便性」、「6 道路の整備」、「26 雇用対策の推進」、「34 若者の定住の推進」となっている。



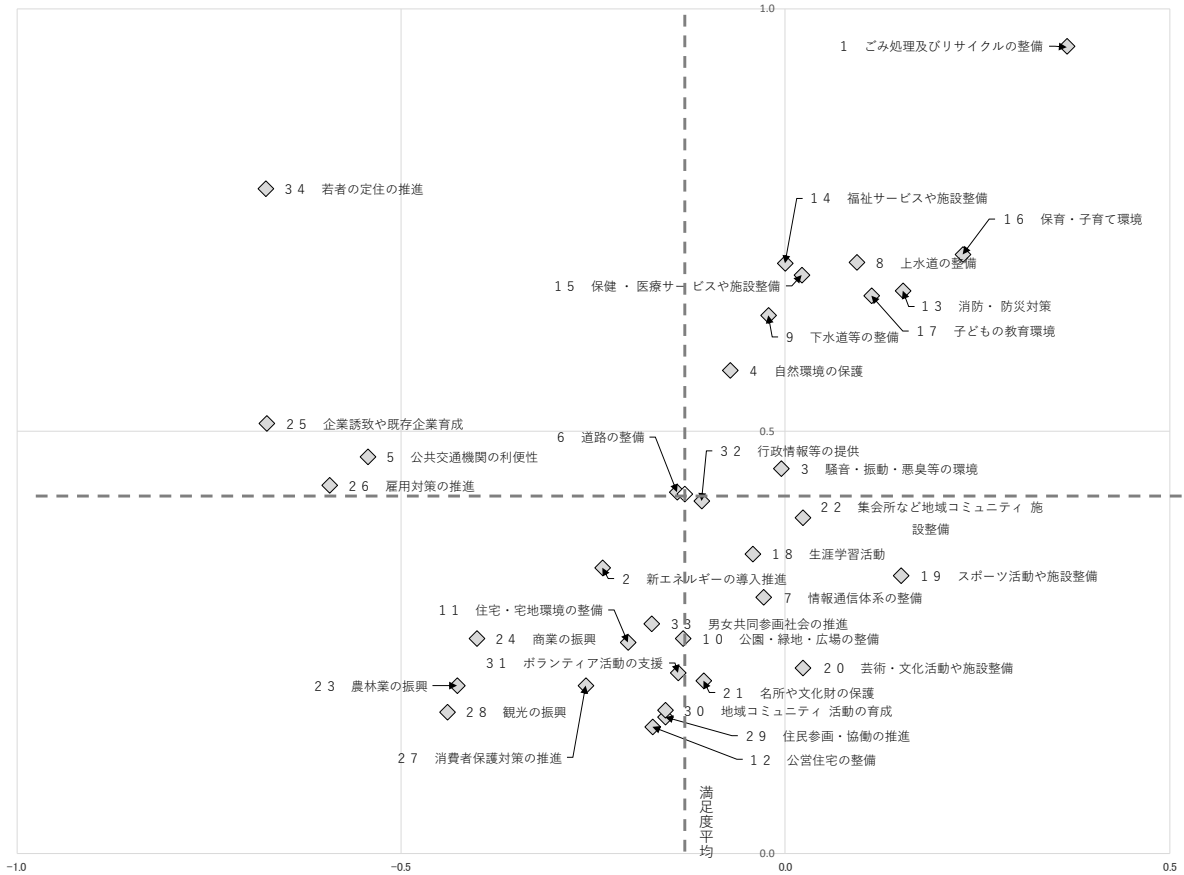
■50代

50代で、平均値よりも、重要度が高く、満足度が低かった施策は、「2 新エネルギーの導入推進」及び「5 公共交通機関の利便性」、「6 道路の整備」、「9 下水道等の整備」、「24 商業の振興」、「25 企業誘致や既存企業育成」、「26 雇用対策の推進」、「34 若者の定住の推進」となっている。



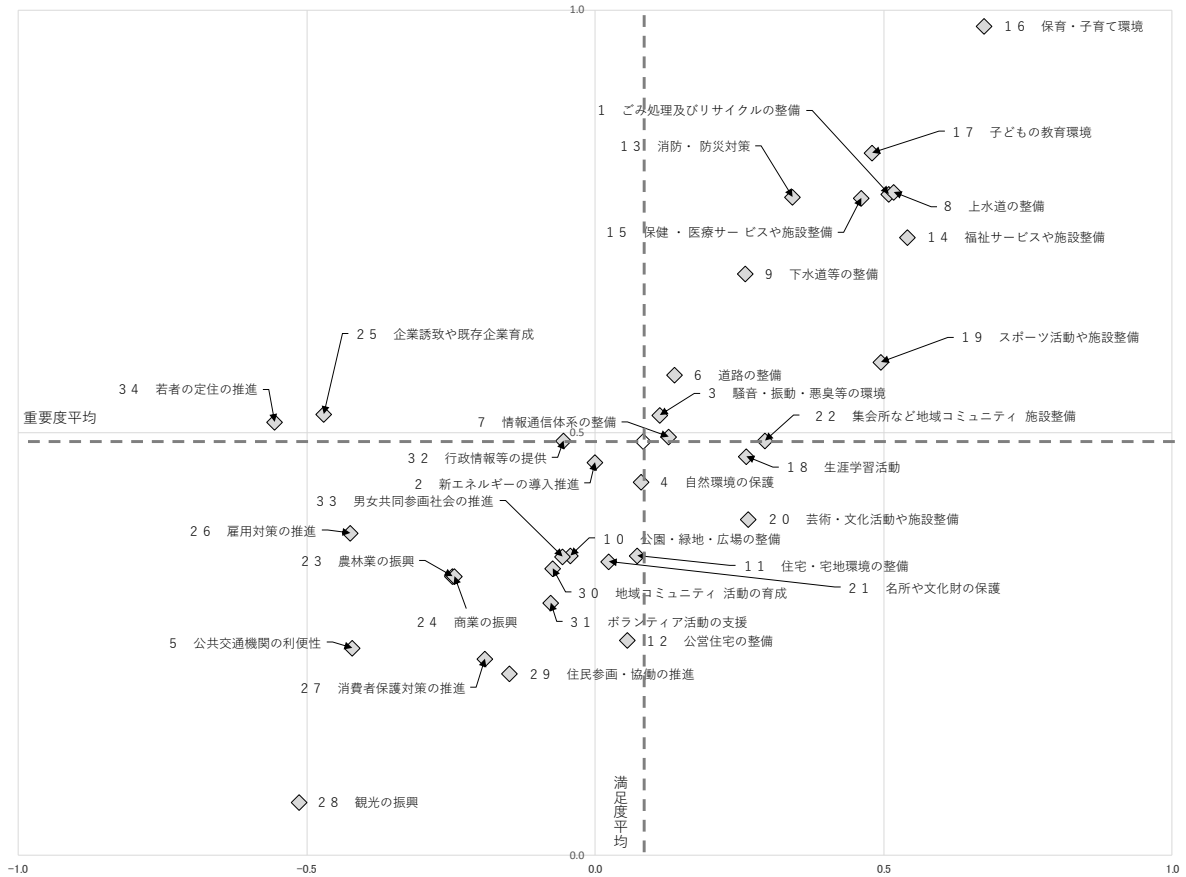
■60代

60代で、平均値よりも、重要度が高く、満足度が低かった施策は、「5 公共交通機関の利便性」及び「6 道路の整備」、「25 企業誘致や既存企業育成」、「26 雇用対策の推進」、「34 若者の定住の推進」となっている。



■70代以上

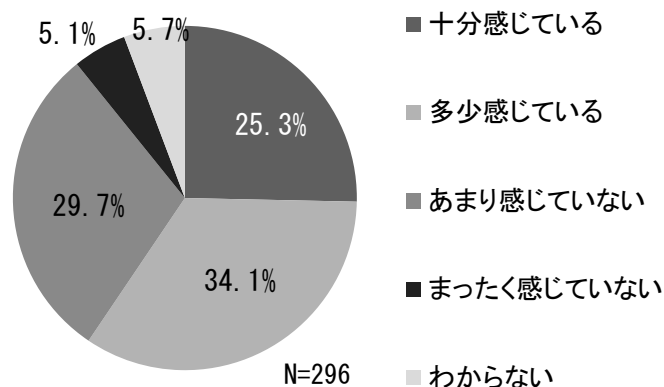
70代以上で、平均値よりも、重要度が高く、満足度が低かった施策は、「25 企業誘致や既存企業育成」及び「32 行政情報等の提供」、「34 若者の定住の推進」となっている。



問3 65歳以上の方にお聞きします。あなたは、玉川村で生活していく中で、どの程度生きがいを感じていますか。 <1つに○印>

「多少感じている」が34.1%と最も多く、次いで「あまり感じていない」が29.7%、「十分感じている」が25.3%となっています。

総数	296	100.0%
十分感じている	75	25.3%
多少感じている	101	34.1%
あまり感じていない	88	29.7%
まったく感じていない	15	5.1%
わからない	17	5.7%

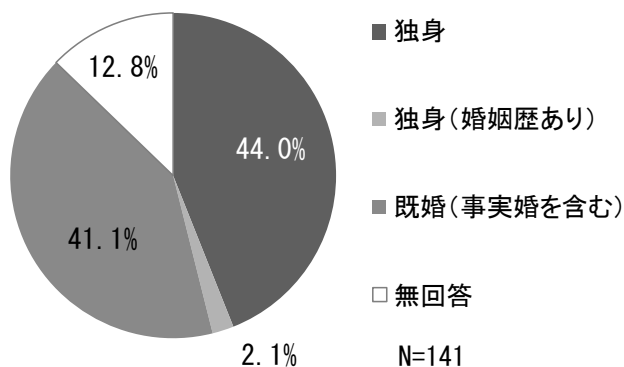


問4 40歳未満の方にお聞きします。あなたは、結婚していますか。

<1つに○印>

「独身」が44.0%と最も多く、次いで「既婚（事実婚を含む）」が41.1%、「独身（婚姻歴あり）」が2.1%となっています。

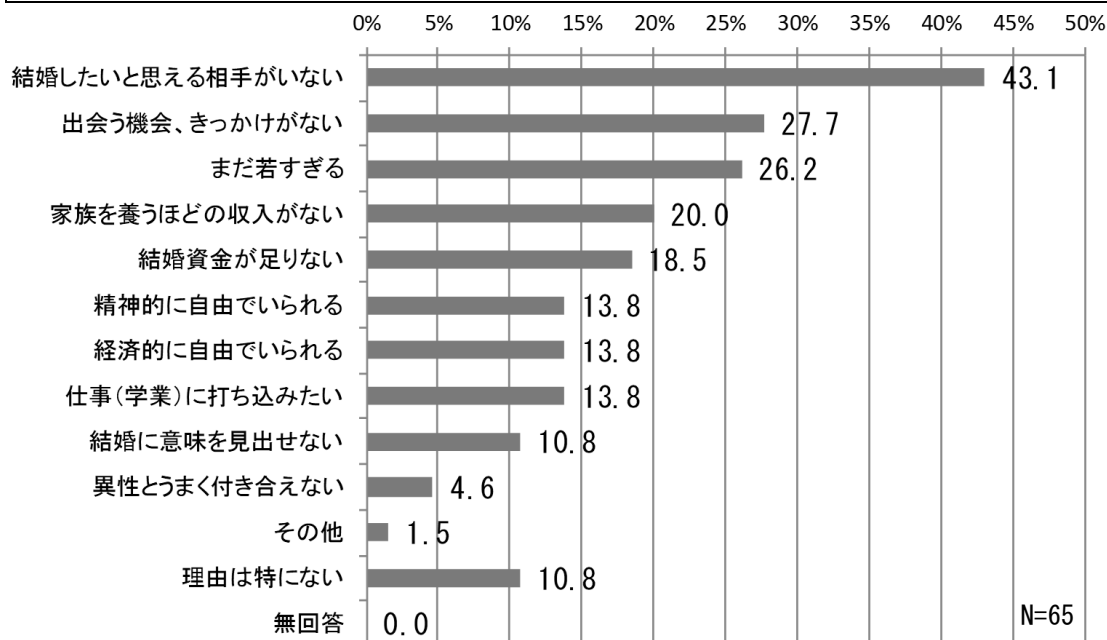
総数	141	100.0%
独身	62	44.0%
独身（婚姻歴あり）	3	2.1%
既婚（事実婚を含む）	58	41.1%
無回答	18	12.8%



問5 設問4で「1. 独身」、「2. 独身（婚姻歴あり）」と回答した方にお聞きします。結婚していない理由について教えてください。

〈あてはまるものすべてに○印〉

「結婚したいと思える相手がない」が43.1%と最も多く、次いで「出会う機会、きっかけがない」が27.7%、「まだ若すぎる」が26.2%、「家族を養うほどの収入がない」が20.0%となっています。



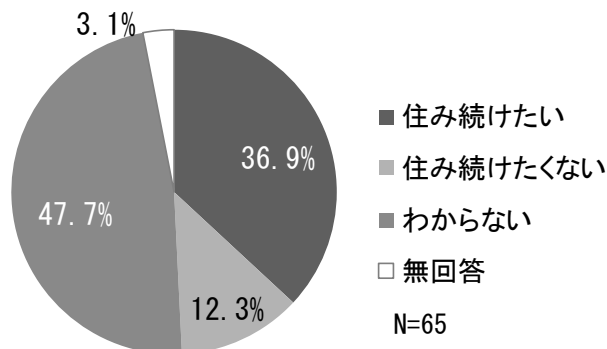
理由	人数	割合 (%)
総数	65	100.0%
結婚したいと思える相手がない	28	43.1%
出会う機会、きっかけがない	18	27.7%
まだ若すぎる	17	26.2%
家族を養うほどの収入がない	13	20.0%
結婚資金が足りない	12	18.5%
精神的に自由でいられる	9	13.8%
経済的に自由でいられる	9	13.8%
仕事(学業)に打ち込みたい	9	13.8%
結婚に意味を見出せない	7	10.8%
異性とうまく付き合えない	3	4.6%
その他	1	1.5%
理由は特にない	7	10.8%
無回答	0	0.0%

問6 設問4で「1. 独身」、「2. 独身（婚姻歴あり）」と回答した方にお聞きします。結婚後も玉川村に住み続けたいですか。

＜1つに○印＞

「わからない」が47.7%と最も多く、次いで「住み続けたい」が36.9%、「住み続けたくない」が12.3%となっています。

総数	65	100.0%
住み続けたい	24	36.9%
住み続けたくない	8	12.3%
わからない	31	47.7%
無回答	2	3.1%

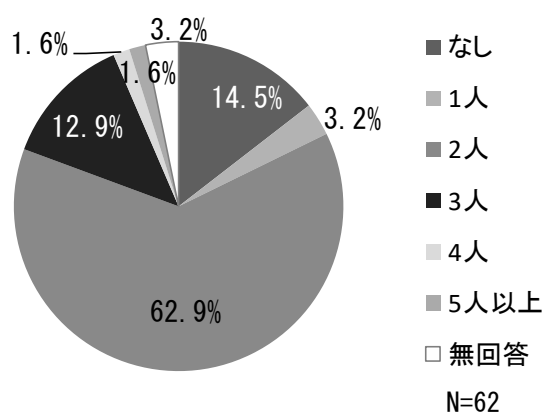


問7 設問4で「1. 独身」、と回答した方に伺います。将来的に持ちたいと思う子どもの数は何人ですか。

（お子さんをお持ちの方は現在のお子さんを含めた全体数でお答えください） ＜1つに○印＞

「2人」が62.9%と最も多く、次いで「なし」が14.5%、「3人」が12.9%、「1人」が3.2%となっています。（回答の平均は1.9人）

総数	62	100.0%
なし	9	14.5%
1人	2	3.2%
2人	39	62.9%
3人	8	12.9%
4人	1	1.6%
5人以上	1	1.6%
無回答	2	3.2%

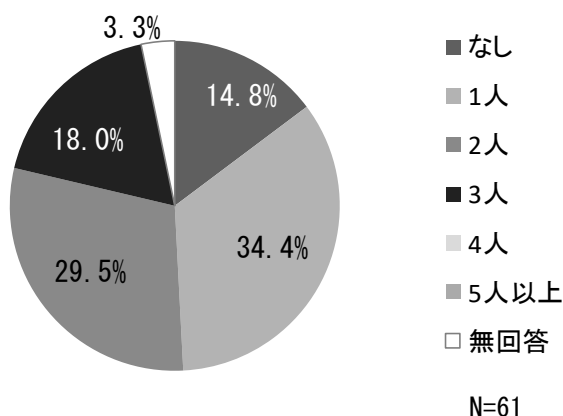


問8 設問4で「2. 独身（婚姻歴あり）」「3. 既婚（事実婚を含む）」と回答した方に伺います。実際の子どもの数、理想とする子どもの数は何人ですか。
 <それぞれ1つに○印>

【実際の子どもの数】

「1人」が34.4%と最も多く、次いで「2人」が29.5%、「3人」が18.0%、「なし」が14.8%となっています。（回答者の平均は1.5人）

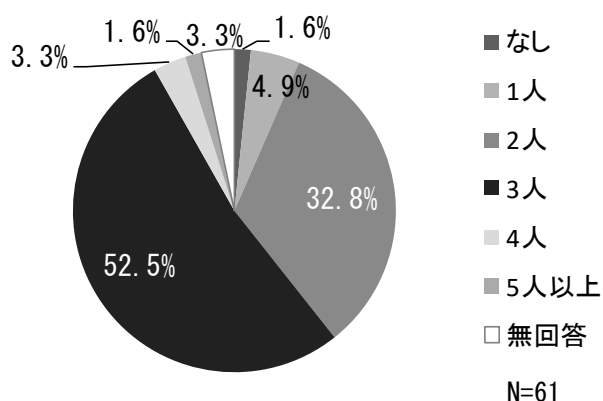
総数	61	100.0%
なし	9	14.8%
1人	21	34.4%
2人	18	29.5%
3人	11	18.0%
4人	0	0.0%
5人以上	0	0.0%
無回答	2	3.3%



【理想とする子供の数】

「3人」が52.5%と最も多く、次いで「2人」が32.8%、「1人」が4.9%、「4人」が3.3%となっています。（回答者の平均は2.6人）

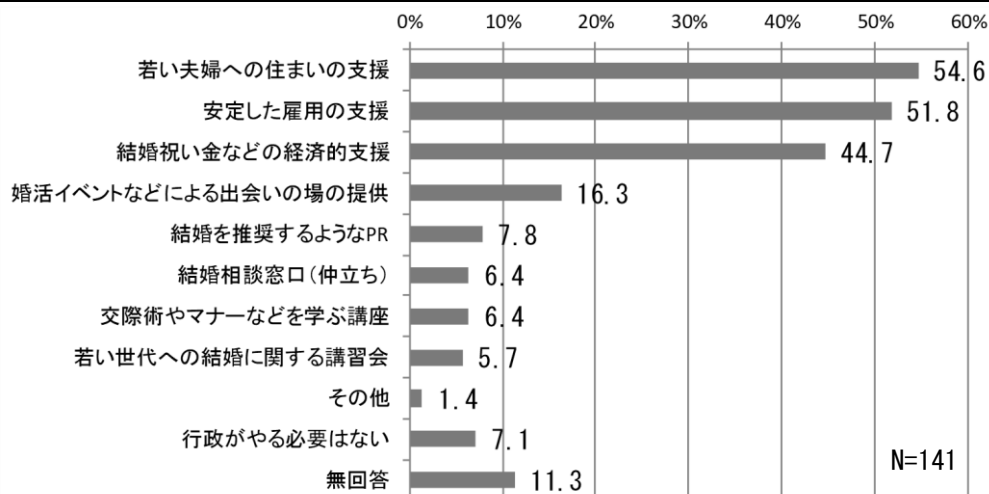
総数	61	100.0%
なし	1	1.6%
1人	3	4.9%
2人	20	32.8%
3人	32	52.5%
4人	2	3.3%
5人以上	1	1.6%
無回答	2	3.3%



問9 40歳未満の方にお聞きします。玉川村が行う結婚支援として、何を重点的に取り組む必要があると感じていますか。

＜あてはまるものすべてに○印＞

「若い夫婦への住まいの支援」が 54.6%と最も多く、次いで「安定した雇用の支援」が 51.8%、「結婚祝い金などの経済的支援」が 44.7%、「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」が 16.3%となっています。



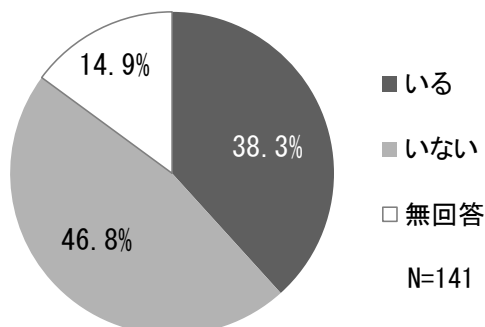
支援内容	人数	割合 (%)
総数	141	100.0%
若い夫婦への住まいの支援	77	54.6%
安定した雇用の支援	73	51.8%
結婚祝い金などの経済的支援	63	44.7%
婚活イベントなどによる出会いの場の提供	23	16.3%
結婚を推奨するようなPR	11	7.8%
結婚相談窓口(仲立ち)	9	6.4%
交際術やマナーなどを学ぶ講座	9	6.4%
若い世代への結婚に関する講習会	8	5.7%
その他	2	1.4%
行政がやる必要はない	10	7.1%
無回答	16	11.3%

問10 40歳未満の方にお聞きします。現在の子どもの数を教えてください。

＜1つに○印＞

「いない」が 46.8%、「いる」が 38.3%となっています。

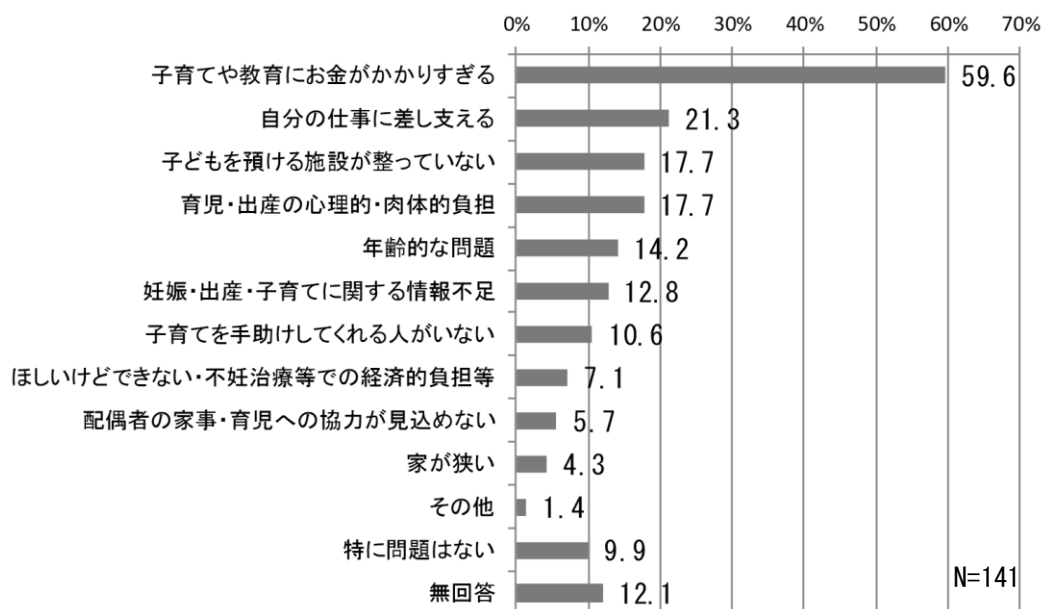
回答内容	人数	割合 (%)
総数	141	100.0%
いる	54	38.3%
いない	66	46.8%
無回答	21	14.9%



問11 40歳未満の方にお聞きします。将来持ちたいと思う、あるいは理想的な子どもの数の実現に対して何が問題であると感じていますか。

＜あてはまるものすべてに○印＞

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が59.6%と最も多く、次いで「自分の仕事に差し支える」が21.3%、「子どもを預ける施設が整っていない」「育児・出産の心理的・肉体的負担」が17.7%となっています。



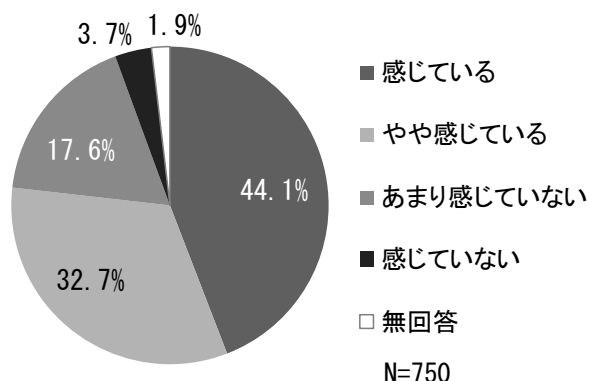
項目	人数	割合 (%)
総数	141	100.0%
子育てや教育にお金がかかりすぎる	84	59.6%
自分の仕事に差し支える	30	21.3%
子どもを預ける施設が整っていない	25	17.7%
育児・出産の心理的・肉体的負担	25	17.7%
年齢的な問題	20	14.2%
妊娠・出産・子育てに関する情報不足	18	12.8%
子育てを手助けしてくれる人がいない	15	10.6%
ほしいけどできない・不妊治療等での経済的負担等	10	7.1%
配偶者の家事・育児への協力が見込めない	8	5.7%
家が狭い	6	4.3%
その他	2	1.4%
特に問題はない	14	9.9%
無回答	17	12.1%

問12 あなたは、玉川村に愛着を感じていますか。

<1つに○印>

「感じている」が44.1%と最も多く、次いで「やや感じている」が32.7%、「あまり感じていない」が17.6%、「感じていない」が3.7%となっています。

総数	750	100.0%
感じている	331	44.1%
やや感じている	245	32.7%
あまり感じていない	132	17.6%
感じていない	28	3.7%
無回答	14	1.9%



【年代別クロス集計】

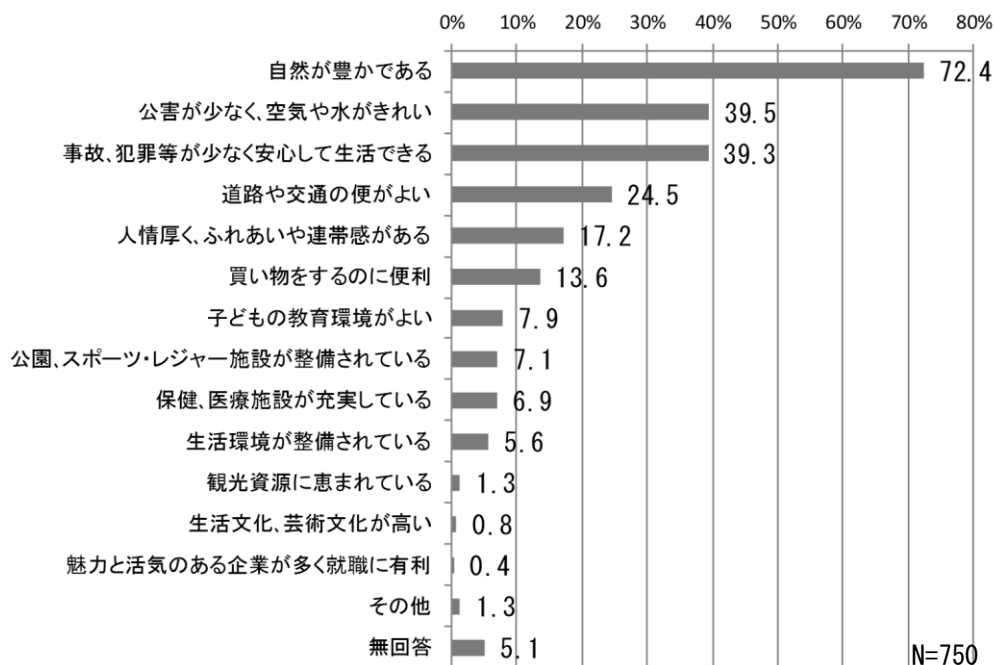
30代以下では「やや感じている」が最も多く、40代以上では「感じている」が最も多くなっています。30代以下では、年齢が高まるにつれて、玉川村に愛着を感じる傾向が低くなり、40代以上では、年齢が高まるにつれて、玉川村に愛着を感じる傾向が高くなっています。

	総数	感じている	やや 感じている	あまり 感じていない	感じていない	無回答
10代	16	7	9	0	0	0
	100.0%	43.8%	56.3%	0.0%	0.0%	0.0%
20代	46	17	20	7	0	2
	100.0%	37.0%	43.5%	15.2%	0.0%	4.3%
30代	79	26	31	19	2	1
	100.0%	32.9%	39.2%	24.1%	2.5%	1.3%
40代	103	41	29	24	9	0
	100.0%	39.8%	28.2%	23.3%	8.7%	0.0%
50代	123	54	38	21	9	1
	100.0%	43.9%	30.9%	17.1%	7.3%	0.8%
60代	202	91	60	41	7	3
	100.0%	45.0%	29.7%	20.3%	3.5%	1.5%
70代以上	177	93	58	19	1	6
	100.0%	52.5%	32.8%	10.7%	0.6%	3.4%

問13 あなたは、玉川村のイメージをどのように感じていますか。

<3つまで○印>

「自然が豊かである」が72.4%と最も多く、次いで「公害が少なく、空気や水がきれい」が39.5%、「事故、犯罪等が少なく安心して生活できる」が39.3%、「道路や交通の便がよい」が24.5%となっています。



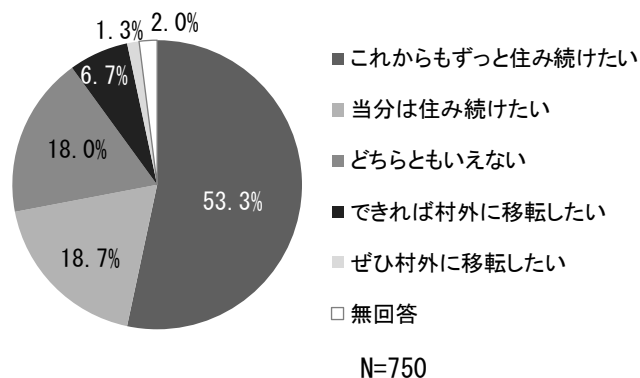
イメージ	人数	割合 (%)
総数	750	100.0%
自然が豊かである	543	72.4%
公害が少なく、空気や水がきれい	296	39.5%
事故、犯罪等が少なく安心して生活できる	295	39.3%
道路や交通の便がよい	184	24.5%
人情厚く、ふれあいや連帯感がある	129	17.2%
買い物をするのに便利	102	13.6%
子どもの教育環境がよい	59	7.9%
公園、スポーツ・レジャー施設が整備されている	53	7.1%
保健、医療施設が充実している	52	6.9%
生活環境が整備されている	42	5.6%
観光資源に恵まれている	10	1.3%
生活文化、芸術文化が高い	6	0.8%
魅力と活気のある企業が多く就職に有利	3	0.4%
その他	10	1.3%
無回答	38	5.1%

問14 あなたは、これからも玉川村に住み続けたいと思いますか。

<1つに○印>

「これからもずっと住み続けたい」が53.3%と最も多く、次いで「当分は住み続けたい」が18.7%、「どちらともいえない」が18.0%、「できれば村外に移転したい」が6.7%となっています。

総数	750	100.0%
これからもずっと住み続けたい	400	53.3%
当分は住み続けたい	140	18.7%
どちらともいえない	135	18.0%
できれば村外に移転したい	50	6.7%
ぜひ村外に移転したい	10	1.3%
無回答	15	2.0%



【年代別クロス集計】

10代では「当分は住み続けたい」が最も多く、20代では「どちらともいえない」が最も多く、30代以上では、「これからもずっと住み続けたい」が最も多くなっています。

居住継続意向は、10代から20代にかけて低くなった後、年齢が高まるにつれて、居住継続意向が高まる傾向となっています。

	総数	これからもずっと住み続けたい	当分は住み続けたい	どちらともいえない	できれば村外に移転したい	ぜひ村外に移転したい	無回答
10代	16	2	6	5	3	0	0
	100.0%	12.5%	37.5%	31.3%	18.8%	0.0%	0.0%
20代	46	8	14	16	3	2	3
	100.0%	17.4%	30.4%	34.8%	6.5%	4.3%	6.5%
30代	79	27	23	24	5	0	0
	100.0%	34.2%	29.1%	30.4%	6.3%	0.0%	0.0%
40代	103	43	22	26	11	1	0
	100.0%	41.7%	21.4%	25.2%	10.7%	1.0%	0.0%
50代	123	66	24	20	11	2	0
	100.0%	53.7%	19.5%	16.3%	8.9%	1.6%	0.0%
60代	202	121	32	26	15	5	3
	100.0%	59.9%	15.8%	12.9%	7.4%	2.5%	1.5%
70代以上	177	130	19	18	2	0	8
	100.0%	73.4%	10.7%	10.2%	1.1%	0.0%	4.5%

【愛着度(問 12)別クロス集計】

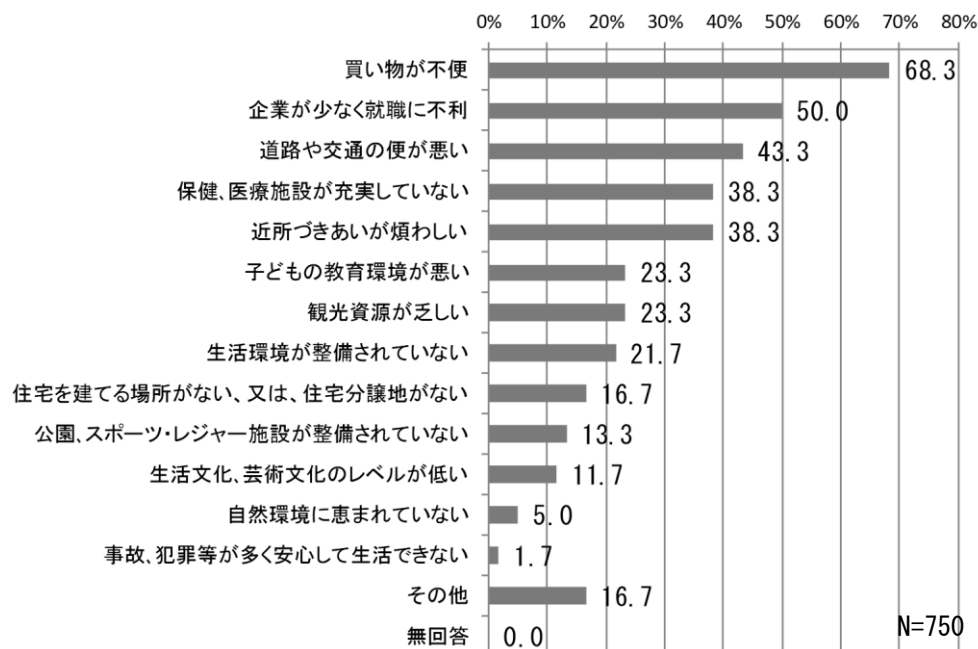
「感じている」及び「やや感じている」では、「これからもずっと住み続けたい」が最も多く、「あまり感じていない」では「どちらともいえない」が最も多く、「感じていない」では「どちらともいえない」及び「できれば村外に移転したい」が最も多くなっています。玉川村への愛着度が高くなるほど、居住継続意向も高くなっていく傾向がみられます。

	総数	これからも ずっと 住み続けたい	当分は 住み続けたい	どちらとも いえない	できれば村外 に移転したい	ぜひ村外に 移転したい	無回答
感じている	331	276	33	16	4	2	0
	100.0%	83.4%	10.0%	4.8%	1.2%	0.6%	0.0%
やや 感じている	245	100	81	47	14	1	2
	100.0%	40.8%	33.1%	19.2%	5.7%	0.4%	0.8%
あまり 感じていない	132	20	25	61	21	2	3
	100.0%	15.2%	18.9%	46.2%	15.9%	1.5%	2.3%
感じていない	28	0	1	11	11	5	0
	100.0%	0.0%	3.6%	39.3%	39.3%	17.9%	0.0%

問15 設問14で「4. できれば村外に移転したい」「5. ぜひ村外に移転したい」とお答えの方に伺います。村外に移りたい理由は何ですか。

<あてはまるものすべてに○印>

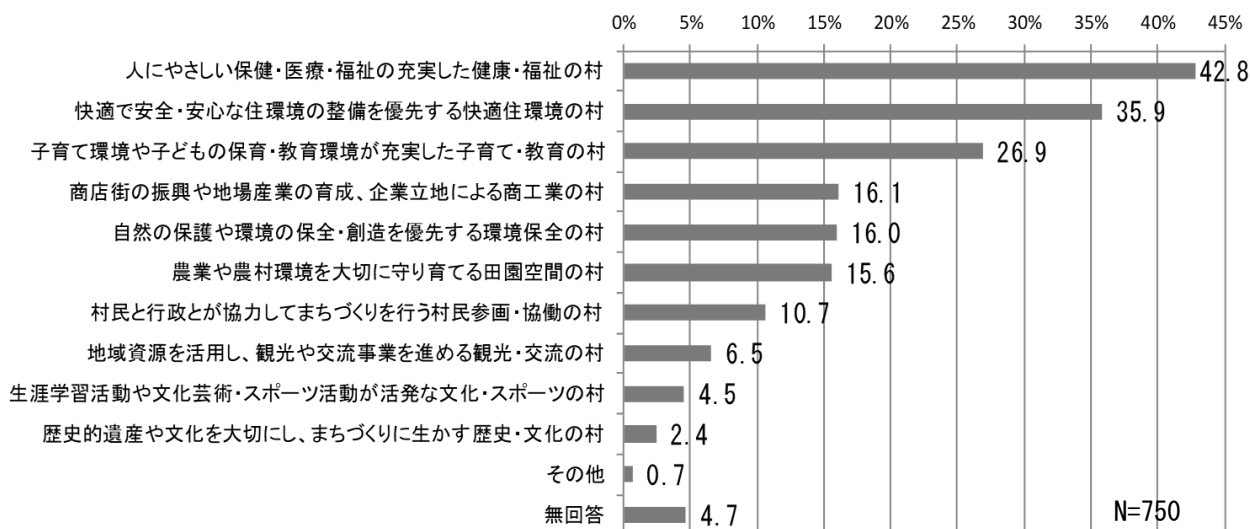
「買い物が不便」が68.3%と最も多く、次いで「企業が少なく就職に不利」が50.0%、「道路や交通の便が悪い」が43.3%、「保健、医療施設が充実していない」及び「近所づきあいが煩わしい」が38.3%となっています。



理由	人数	割合 (%)
総数	750	100.0%
買い物が不便	41	68.3%
企業が少なく就職に不利	30	50.0%
道路や交通の便が悪い	26	43.3%
保健、医療施設が充実していない	23	38.3%
近所づきあいが煩わしい	23	38.3%
子どもの教育環境が悪い	14	23.3%
観光資源が乏しい	14	23.3%
生活環境が整備されていない	13	21.7%
住宅を建てる場所がない、又は、住宅分譲地がない	10	16.7%
公園、スポーツ・レジャー施設が整備されていない	8	13.3%
生活文化、芸術文化のレベルが低い	7	11.7%
自然環境に恵まれていない	3	5.0%
事故、犯罪等が多く安心して生活できない	1	1.7%
その他	10	16.7%
無回答	0	0.0%

問16 あなたは、今後の村づくりにおいて、どのような特色のある村づくりを期待しますか。 <2つまで○印>

「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉の村」が42.8%と最も多く、次いで「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境の村」が35.9%、「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育の村」が26.9%、「商店街の振興や地場産業の育成、企業立地による商工業の村」が16.1%となっています。



総数	人数	割合 (%)
人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉の村	321	42.8%
快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境の村	269	35.9%
子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育の村	202	26.9%
商店街の振興や地場産業の育成、企業立地による商工業の村	121	16.1%
自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全の村	120	16.0%
農業や農村環境を大切に守り育てる田園空間の村	117	15.6%
村民と行政とが協力してまちづくりを行う村民参画・協働の村	80	10.7%
地域資源を活用し、観光や交流事業を進める観光・交流の村	49	6.5%
生涯学習活動や文化芸術・スポーツ活動が活発な文化・スポーツの村	34	4.5%
歴史的遺産や文化を大切にし、まちづくりに生かす歴史・文化の村	18	2.4%
その他	5	0.7%
無回答	35	4.7%

【年代別クロス集計】

10代、40代、60代、70代以上では、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉の村」が最も多くなっています。

一方、20代、30代では、「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育の村」が最も多く、50代では、「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境の村」が最も多くなっています。

	総数	人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉の村	快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境の村	子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育の村	商店街の振興や地場産業の育成、企業立地による商工業の村	自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全の村	農業や農村環境を大切に守り育てる田園空間の村	村民と行政とが協力してまちづくりを行う村民参画・協働の村	地域資源を活用し、観光や交流事業を進める観光・交流の村	生涯学習活動や文化芸術・スポーツの村	歴史的遺産や文化を大切にし、まちづくりに生かす歴史・文化の村	その他	無回答
10代	16	6	5	2	5	5	3	1	0	0	1	0	0
	100.0%	37.5%	31.3%	12.5%	31.3%	31.3%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%
20代	46	11	13	18	15	6	4	1	10	3	1	0	2
	100.0%	23.9%	28.3%	39.1%	32.6%	13.0%	8.7%	2.2%	21.7%	6.5%	2.2%	0.0%	4.3%
30代	79	27	31	38	11	7	9	4	5	5	1	1	1
	100.0%	34.2%	39.2%	48.1%	13.9%	8.9%	11.4%	5.1%	6.3%	6.3%	1.3%	1.3%	1.3%
40代	103	46	40	33	17	14	13	9	7	6	4	1	1
	100.0%	44.7%	38.8%	32.0%	16.5%	13.6%	12.6%	8.7%	6.8%	5.8%	3.9%	1.0%	1.0%
50代	123	48	56	32	29	22	18	8	8	4	2	0	3
	100.0%	39.0%	45.5%	26.0%	23.6%	17.9%	14.6%	6.5%	6.5%	3.3%	1.6%	0.0%	2.4%
60代	202	93	76	47	28	36	40	26	10	5	4	2	8
	100.0%	46.0%	37.6%	23.3%	13.9%	17.8%	19.8%	12.9%	5.0%	2.5%	2.0%	1.0%	4.0%
70代以上	177	88	47	31	16	30	29	31	9	11	5	1	19
	100.0%	49.7%	26.6%	17.5%	9.0%	16.9%	16.4%	17.5%	5.1%	6.2%	2.8%	0.6%	10.7%

【居住継続意向(問14)別クロス集計】

「これからもずっと住みたい」「どちらともいえない」「ぜひ村外に移転したい」では、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉の村」が最も多くなっていますが、「当分は住みたい」では、「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境の村」が最も多くなっています。

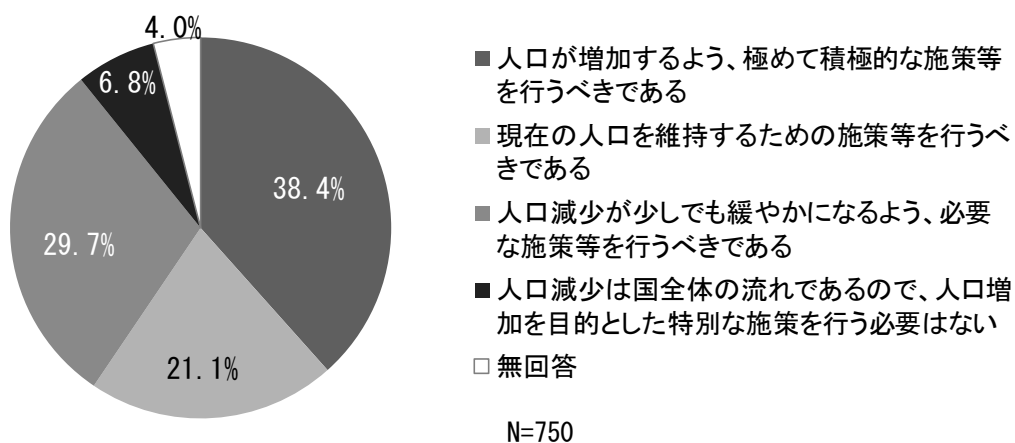
「できれば村外に移転したい」では、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉の村」及び「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境の村」が最も多くなっています。

	総数	人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉の村	快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境の村	子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育の村	商店街の振興や地場産業の育成、企業立地による商工業の村	自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全の村	農業や農村環境を大切に守り育てる田園空間の村	村民と行政とが協力してまちづくりを行う村民参画・協働の村	地域資源を活用し、観光や交流事業を進める観光・交流の村	生涯学習活動や文化芸術・スポーツの村	歴史的遺産や文化を大切にし、まちづくりに生かす歴史・文化の村	その他	無回答
これからもずっと住みたい	400	187	146	113	54	62	72	48	23	22	7	0	14
	100.0%	46.8%	36.5%	28.3%	13.5%	15.5%	18.0%	12.0%	5.8%	5.5%	1.8%	0.0%	3.5%
当分は住みたい	140	54	59	39	23	22	22	14	7	7	4	0	5
	100.0%	38.6%	42.1%	27.9%	16.4%	15.7%	15.7%	10.0%	5.0%	5.0%	2.9%	0.0%	3.6%
どちらともいえない	135	57	43	34	27	25	17	14	15	2	5	1	4
	100.0%	42.2%	31.9%	25.2%	20.0%	18.5%	12.6%	10.4%	11.1%	1.5%	3.7%	0.7%	3.0%
できれば村外に移転したい	50	16	16	13	13	9	5	2	3	2	2	2	3
	100.0%	32.0%	32.0%	26.0%	26.0%	18.0%	10.0%	4.0%	6.0%	4.0%	4.0%	4.0%	6.0%
ぜひ村外に移転したい	10	5	3	2	2	1	0	1	0	1	0	0	1
	100.0%	50.0%	30.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%

問17 玉川村の今後の人口等について、あなたの考えをお聞かせください。

<1つに○印>

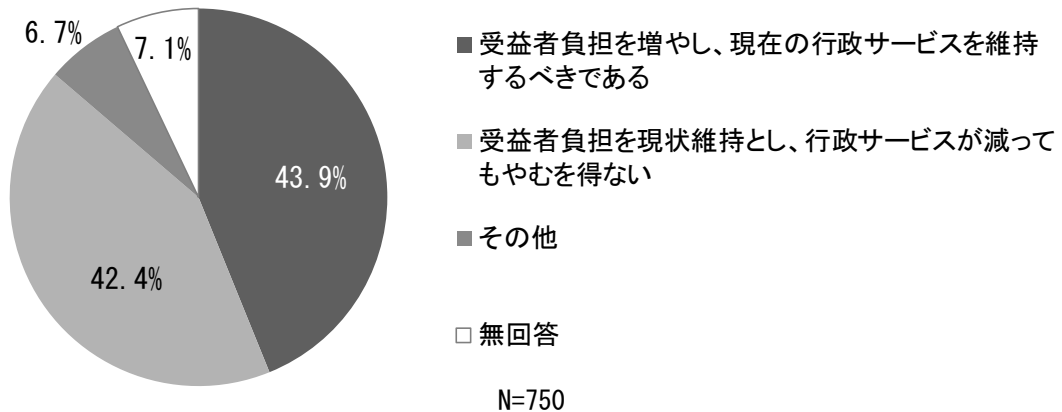
「人口が増加するよう、極めて積極的な施策等を行うべきである」が38.4%と最も多く、次いで「人口減少が少しでも緩やかになるよう、必要な施策等を行うべきである」が29.7%、「現在の人口を維持するための施策等を行うべきである」が21.1%、「人口減少は国全体の流れであるので、人口増加を目的とした特別な施策を行う必要はない」が6.8%となっています。



総数	750	100.0%
人口が増加するよう、極めて積極的な施策等を行うべきである	288	38.4%
現在の人口を維持するための施策等を行うべきである	158	21.1%
人口減少が少しでも緩やかになるよう、必要な施策等を行うべきである	223	29.7%
人口減少は国全体の流れであるので、人口増加を目的とした特別な施策を行う必要はない	51	6.8%
無回答	30	4.0%

問18 財政状況が厳しさを増す中、村が提供するサービスのあり方について、あなたの考えをお聞かせください。 <1つに○印>

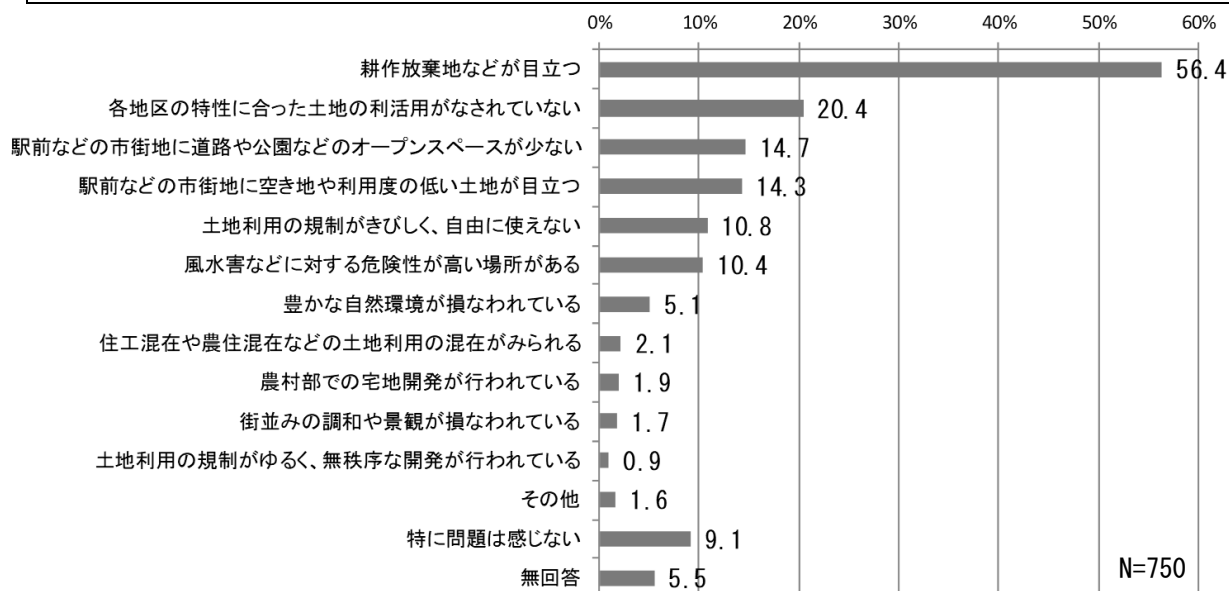
「受益者負担を増やし、現在の行政サービスを維持するべきである」が43.9%と最も多く、次いで「受益者負担を現状維持とし、行政サービスが減ってもやむを得ない」が42.4%、「その他」が6.7%となっています。



総数	750	100.0%
受益者負担を増やし、現在の行政サービスを維持するべきである	329	43.9%
受益者負担を現状維持とし、行政サービスが減ってもやむを得ない	318	42.4%
その他	50	6.7%
無回答	53	7.1%

問19 あなたは、玉川村の土地利用について、どのようなことが問題と
感じますか。 <2つまで○印>

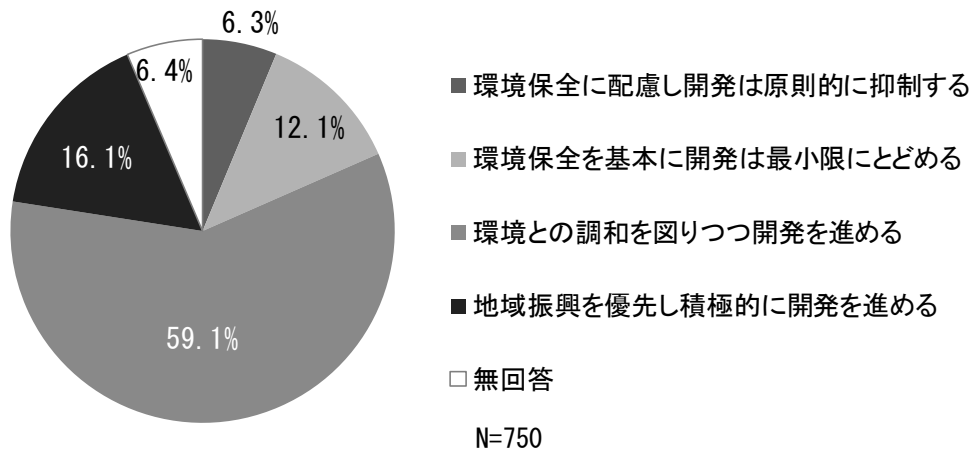
「耕作放棄地などが目立つ」が56.4%と最も多く、次いで「各地区の特性に合った土地の利活用がなされていない」が20.4%、「駅前などの市街地に道路や公園などのオープンスペースが少ない」が14.7%、「駅前などの市街地に空き地や利用度の低い土地が目立つ」が14.3%となっています。



項目	人数	割合 (%)
総数	750	100.0%
耕作放棄地などが目立つ	423	56.4%
各地区の特性に合った土地の利活用がなされていない	153	20.4%
駅前などの市街地に道路や公園などのオープンスペースが少ない	110	14.7%
駅前などの市街地に空き地や利用度の低い土地が目立つ	107	14.3%
土地利用の規制がきびしく、自由に使えない	81	10.8%
風水害などに対する危険性が高い場所がある	78	10.4%
豊かな自然環境が損なわれている	38	5.1%
住工混在や農住混在などの土地利用の混在がみられる	16	2.1%
農村部での宅地開発が行われている	14	1.9%
街並みの調和や景観が損なわれている	13	1.7%
土地利用の規制がゆるく、無秩序な開発が行われている	7	0.9%
その他	12	1.6%
特に問題は感じない	68	9.1%
無回答	41	5.5%

問20 あなたは、これからの開発と自然環境・農村環境保全のあり方について、基本的にどのような方向で考えていくべきだと思いますか。
 <1つに○印>

「環境との調和を図りつつ開発を進める」が59.1%と最も多く、次いで「地域振興を優先し積極的に開発を進める」が16.1%、「環境保全を基本に開発は最小限にとどめる」が12.1%、「環境保全に配慮し開発は原則的に抑制する」が6.3%となっています。

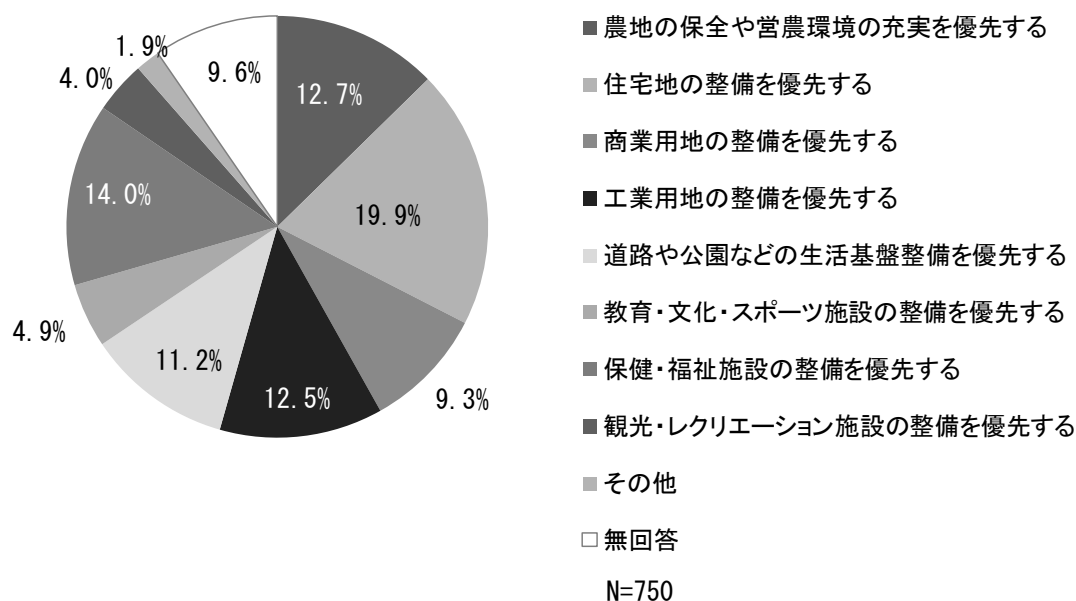


総数	750	100.0%
環境保全に配慮し開発は原則的に抑制する	47	6.3%
環境保全を基本に開発は最小限にとどめる	91	12.1%
環境との調和を図りつつ開発を進める	443	59.1%
地域振興を優先し積極的に開発を進める	121	16.1%
無回答	48	6.4%

問21 村の発展に向けて、計画的な土地の利用を進めていくことが重要になります。あなたは、今後、どの用地の整備を優先すべきだと思いますか。

<1つに○印>

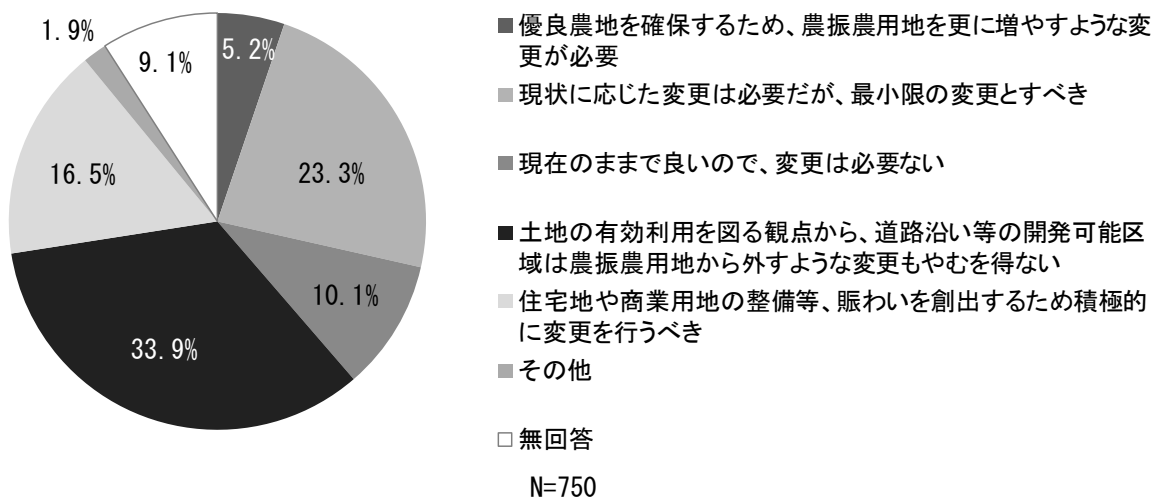
「住宅地の整備を優先する」が19.9%と最も多く、次いで「保健・福祉施設の整備を優先する」が14.0%、「農地の保全や営農環境の充実を優先する」が12.7%、「工業用地の整備を優先する」が12.5%となっています。



整備を優先する用地	人数	割合
農地の保全や営農環境の充実を優先する	95	12.7%
住宅地の整備を優先する	149	19.9%
商業用地の整備を優先する	70	9.3%
工業用地の整備を優先する	94	12.5%
道路や公園などの生活基盤整備を優先する	84	11.2%
教育・文化・スポーツ施設の整備を優先する	37	4.9%
保健・福祉施設の整備を優先する	105	14.0%
観光・レクリエーション施設の整備を優先する	30	4.0%
その他	14	1.9%
無回答	72	9.6%
総数	750	100.0%

問22 村では農業振興地域整備計画を策定しております。農振農用地の変更についてどのようにお考えですか。 <1つに○印>

「土地の有効利用を図る観点から、道路沿い等の開発可能区域は農振農用地から外すような変更もやむを得ない」が 33.9%と最も多く、次いで「現状に応じた変更は必要だが、最小限の変更とすべき」が 23.3%、「住宅地や商業用地の整備等、賑わいを創出するため積極的に変更を行うべき」が 16.5%、「現在のままで良いので、変更は必要ない」が 10.1%となっています。



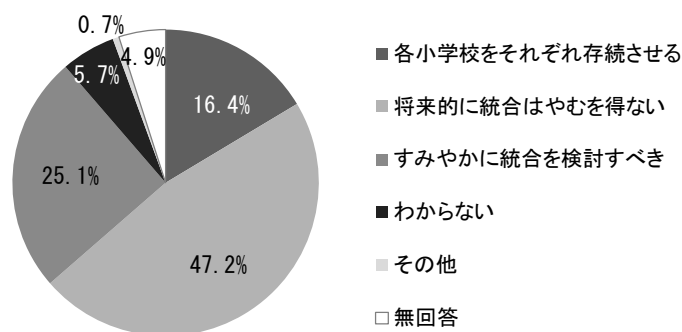
回答内容	人数	割合
総数	750	100.0%
優良農地を確保するため、農振農用地を更に増やすような変更が必要	39	5.2%
現状に応じた変更は必要だが、最小限の変更とすべき	175	23.3%
現在のままで良いので、変更は必要ない	76	10.1%
土地の有効利用を図る観点から、道路沿い等の開発可能区域は農振農用地から外すような変更もやむを得ない	254	33.9%
住宅地や商業用地の整備等、賑わいを創出するため積極的に変更を行うべき	124	16.5%
その他	14	1.9%
無回答	68	9.1%

問23 現在、村内小学校は、玉川第一小学校と須釜小学校の2校です。少子化が進み、依然として児童数は減少傾向にあります。2校の今後について、どのような方向で考えていくべきだと思いますか。

<1つに○印>

「将来的に統合はやむを得ない」が47.2%と最も多く、次いで「すみやかに統合を検討すべき」が25.1%、「各小学校をそれぞれ存続させる」が16.4%、「わからない」が5.7%となっています。

総数	750	100.0%
各小学校をそれぞれ存続させる	123	16.4%
将来的に統合はやむを得ない	354	47.2%
すみやかに統合を検討すべき	188	25.1%
わからない	43	5.7%
その他	5	0.7%
無回答	37	4.9%



N=750

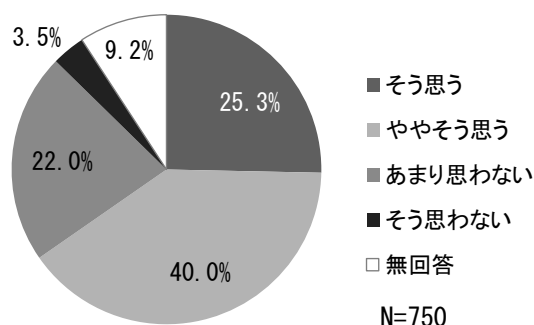
問24 村政や身近な地域活動等への関わりについてお尋ねします。

<各項目1つに○印>

【玉川村の村政（まちづくり）に関心がある】

「ややそう思う」が40.0%と最も多く、次いで「そう思う」が25.3%、「あまり思わない」が22.0%、「そう思わない」が3.5%となっています。

総数	750	100.0%
そう思う	190	25.3%
ややそう思う	300	40.0%
あまり思わない	165	22.0%
そう思わない	26	3.5%
無回答	69	9.2%

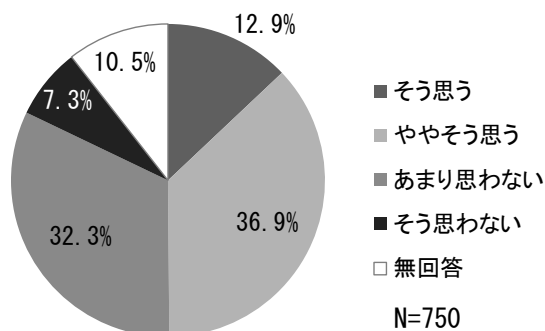


N=750

【まちづくり活動、地域活動、ボランティア活動などに参加したい】

「ややそう思う」が 36.9%と最も多く、次いで「あまり思わない」が 32.3%、「そう思う」が 12.9%、「そう思わない」が 7.3%となっています。

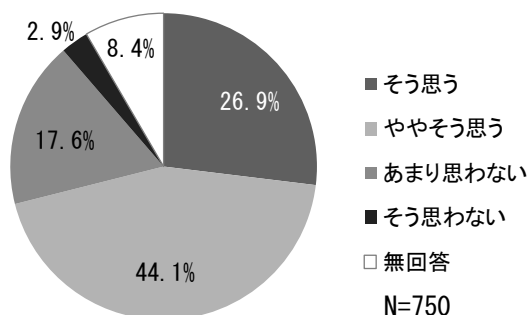
総数	750	100.0%
そう思う	97	12.9%
ややそう思う	277	36.9%
あまり思わない	242	32.3%
そう思わない	55	7.3%
無回答	79	10.5%



【これからのまちづくりには、もっと住民が主役となったり、村政にも積極的に関わることが必要だ】

「ややそう思う」が 44.1%と最も多く、次いで「そう思う」が 26.9%、「あまり思わない」が 17.6%、「そう思わない」が 2.9%となっています。

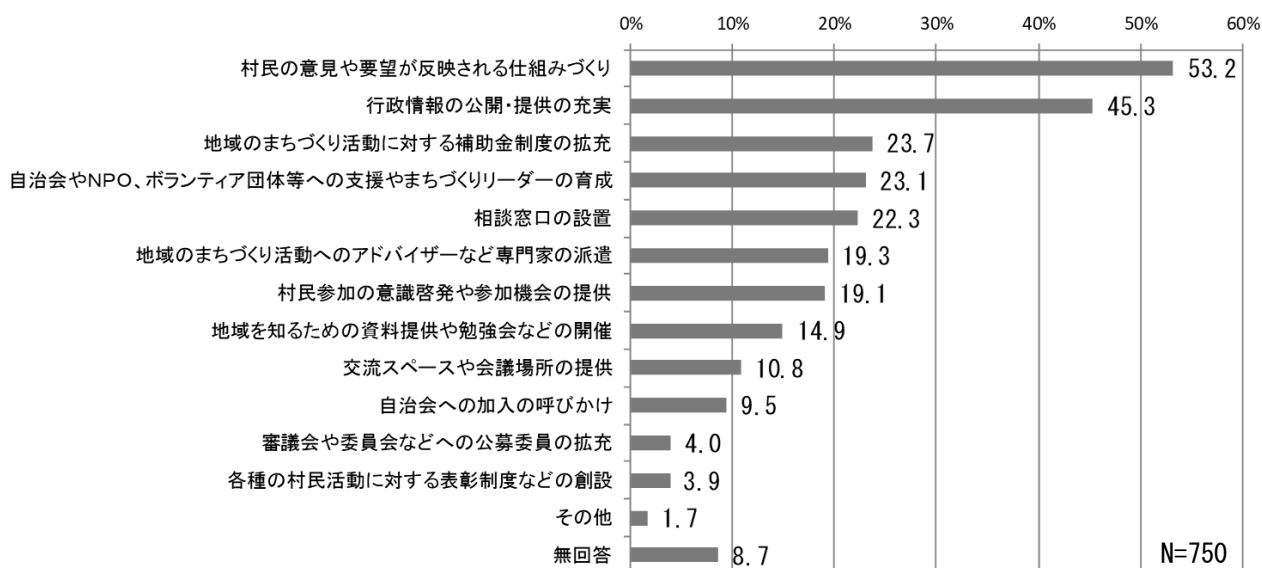
総数	750	100.0%
そう思う	202	26.9%
ややそう思う	331	44.1%
あまり思わない	132	17.6%
そう思わない	22	2.9%
無回答	63	8.4%



問25 村民と行政が手を取りあってまちづくりを進めていくため、今後行政においてどのような取り組みが必要だと思いますか。

〈あてはまるものすべてに○印〉

「村民の意見や要望が反映される仕組みづくり」が53.2%と最も多く、次いで「行政情報の公開・提供の充実」が45.3%、「地域のまちづくり活動に対する補助金制度の拡充」が23.7%、「自治会やNPO、ボランティア団体等への支援やまちづくりリーダーの育成」が23.1%となっています。



総数	人数	割合 (%)
村民の意見や要望が反映される仕組みづくり	399	53.2%
行政情報の公開・提供の充実	340	45.3%
地域のまちづくり活動に対する補助金制度の拡充	178	23.7%
自治会やNPO、ボランティア団体等への支援やまちづくりリーダーの育成	173	23.1%
相談窓口の設置	167	22.3%
地域のまちづくり活動へのアドバイザーなど専門家の派遣	145	19.3%
村民参加の意識啓発や参加機会の提供	143	19.1%
地域を知るための資料提供や勉強会などの開催	112	14.9%
交流スペースや会議場所の提供	81	10.8%
自治会への加入の呼びかけ	71	9.5%
審議会や委員会などへの公募委員の拡充	30	4.0%
各種の村民活動に対する表彰制度などの創設	29	3.9%
その他	13	1.7%
無回答	65	8.7%

3 自由記入意見の概要

最後に、あなたの生活で現在もしくは将来に向けて村政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にご記入下さい。

村の各施策に対する意見では、「保育・子育て環境」が21.1%と最も多く、次いで「商業の振興」と「若者の定住の推進」が16.9%となっています。
その他の意見では、「役場職員や手続き等への意見」と「土地の有効活用についての意見」が9.9%となっています。

総数		71	100.0%
村の各施策について意見	保育・子育て環境	15	21.1%
	商業の振興	12	16.9%
	若者の定住の推進	12	16.9%
	住宅・宅地環境の整備	10	14.1%
	道路の整備	8	11.3%
	子どもの教育環境	7	9.9%
	公共交通機関の利便性	6	8.5%
	消防・防災対策	6	8.5%
	公園・緑地・広場の整備	4	5.6%
	農林業の振興	4	5.6%
	行政情報等の提供	4	5.6%
	公営住宅の整備	3	4.2%
	福祉サービスや施設整備	3	4.2%
	保健・医療サービスや施設整備	3	4.2%
	芸術・文化活動や施設整備	3	4.2%
	観光の振興	3	4.2%
	ごみ処理及びリサイクルの整備	2	2.8%
	下水道等の整備	2	2.8%
	企業誘致や既存企業育成	2	2.8%
	雇用対策の推進	2	2.8%
男女共同参画社会の推進	2	2.8%	
騒音・振動・悪臭等の環境	1	1.4%	
上水道の整備	1	1.4%	
その他の意見	役場職員や手続き等への意見	7	9.9%
	土地の有効活用についての意見	7	9.9%
	予算の使い方への意見	6	8.5%
	本アンケートへの意見	4	5.6%
	村長・村議会への意見	4	5.6%
	交通マナーについての意見	4	5.6%
	税金や公共料金への意見	3	4.2%
	地域活動についての意見	3	4.2%
	福島空港についての意見	3	4.2%

